

財団法人エイズ予防財団に関する資料

1. 財団法人エイズ予防財団役員名簿（平成 22 年 7 月 1 日現在）
2. 財団法人エイズ予防財団評議員名簿（平成 22 年 6 月 15 日現在）
3. 平成 21 年度事業報告書
4. 平成 21 年度決算報告書
5. 平成 22 年度事業計画
6. 平成 22 年度収支予算書

財団法人エイズ予防財団役員名簿

平成22年7月1日現在

役職名	氏 名	現 職 等	任 期	常勤・非常勤の別	最終官職
会 長	島 尾 忠 男	財団法人エイズ予防財団会長	平成24年3月31日	非常勤	
副会長	栗 山 昌 子	財団法人エイズ予防財団副会長	平成24年3月31日	非常勤	
理事長	木 村 哲	東京通信病院病院長	平成24年3月31日	非常勤	
理 事	井 伊 久 美 子	社団法人日本看護協会常任理事	平成24年3月31日	非常勤	
〃	白 阪 琢 磨	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター長	平成24年3月31日	非常勤	
〃	高 橋 千 代 美	日本製薬団体連合会常務理事	平成24年3月31日	非常勤	
〃	田 中 慶 司	学校法人東京医科大学理事長	平成24年3月31日	非常勤	厚生労働省健康局長
〃	角 町 正 勝	社団法人日本歯科医師会理事	平成24年3月31日	非常勤	
〃	七 海 朗	社団法人日本薬剤師会副会長	平成24年3月31日	非常勤	
〃	野 本 亀 久 雄	社団法人日本臓器移植ネットワーク副理事長	平成24年3月31日	非常勤	
〃	福 原 毅 文	国際医療福祉大学教授	平成24年3月31日	非常勤	関東甲信越厚生局長
〃	保 坂 シ ゲ リ	社団法人日本医師会常任理事	平成24年3月31日	非常勤	
〃	松 井 比 呂 美	昭和大学医学部客員教授	平成24年3月31日	非常勤	
〃	宮 田 一 雄	産経新聞東京本社編集局編集委員	平成24年3月31日	非常勤	
〃	森 亨	財団法人結核予防会結核研究所名誉所長	平成24年3月31日	非常勤	
〃	山 崎 修 道	国立感染症研究所名誉所員	平成24年3月31日	非常勤	
監 事	御 手 洗 康	放送大学学園理事長	平成24年3月31日	非常勤	文部科学省事務次官

財団法人エイズ予防財団評議員名簿

平成22年6月15日現在

役職	氏 名	現 職	任 期
評議員	伊 藤 雅 治	社団法人全国社会保険協会連合会理事長	平成24年3月31日
〃	入 山 文 郎	財団法人日本環境整備教育センター理事長	平成24年3月31日
〃	大久保 満 男	社団法人日本歯科医師会会長	平成24年3月31日
〃	岡 村 正	日本商工会議所会頭	平成24年3月31日
〃	児 玉 孝	社団法人日本薬剤師会会長	平成24年3月31日
〃	白 井 克 彦	社団法人日本私立大学連盟会長	平成24年3月31日
〃	原 中 勝 征	社団法人日本医師会会長	平成24年3月31日
〃	広 瀬 道 貞	社団法人日本民間放送連盟会長	平成24年3月31日
〃	福 地 茂 雄	日本放送協会会長	平成24年3月31日
〃	米 倉 弘 昌	社団法人日本経済団体連合会会長	平成24年3月31日

I 総務報告

1 理事会

(1) 第45回理事会

日 時：平成21年4月13日（月）16時00分～17時00分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成21年度事業計画承認の件

平成21年度収支予算承認の件

(2) 第46回理事会

日 時：平成21年6月24日（水）11時00分～12時30分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成20年度事業報告承認の件

平成20年度決算承認の件

最初の評議員の選任方法承認の件

最初の評議員選定委員会の設置・運営規則承認の件

最初の評議員選定委員会委員選任の件

(3) 第47回理事会

日 時：平成22年3月26日（金）10時00分～12時20分

会 場：九段会館「錦鶏の間」

議 案：平成19年度・20年度決算の修正承認の件

平成21年度収支補正予算承認の件

平成22年度事業計画承認の件

平成22年度収支予算承認の件

評議員選任の件

会長、副会長、理事長、専務理事の互選の件

評議員選定委員会委員の選任の件

新法人における最初の評議員候補者推薦の件

事務局の組織及び運営規程改定の件

個人情報保護規程制定の件

2 評議員会

(1) 第45回評議員会

日 時：平成21年4月13日（月）16時00分～17時00分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成21年度事業計画同意の件

平成21年度収支予算同意の件

(2) 第46回評議員会（書面表決）

書面表決の日：平成21年5月19日（火）

議 案：理事選任に関する件

(3) 第47回評議員会

日 時：平成21年6月24日（水）11時00分～12時30分

会 場：結核予防会会議室

議 案：平成20年度事業報告同意の件

平成20年度決算同意の件

(4) 第48回評議員会

日 時：平成22年3月26日（金）10時00分～12時20分

会 場：九段会館「錦鶏の間」

議 案：平成19年度・20年度決算の修正同意の件

平成21年度収支補正予算同意の件

平成22年度事業計画同意の件

平成22年度収支予算同意の件

役員選任の件

新法人における最初の評議員候補者推薦の件

3 エイズ予防財団の今後に関する意見交換会

(1) 第1回

日 時：平成21年9月17日（木）16時00分～18時00分

会 場：結核予防会会議室

内 容：新公益法人制度、公益認定について

新たに定める定款に記載する目的、事業等について

(2) 第2回

日 時：平成21年10月8日（木）16時00分～18時00分

会 場：結核予防会会議室

内 容：新たに定める定款に記載する目的、事業等について

4 公開セッション『エイズ予防財団はどう変わるのか』－新法人化に向けて－
(HIV/エイズの啓発とエイズ予防財団の今後の役割)

(1) 第23回日本エイズ学会学術集会・総会での公開セッション

日 時：平成21年11月27日（金）11時50分～12時50分

会 場：名古屋市 名古屋国際会議場・プレゼンスペース

参加者：約70名

(2) コミュニティセンターaktaでの公開セッション

日 時：平成22年2月20日（土）18時00分～20時00分

会 場：新宿区 コミュニティセンターakta

参加者：約20名

Ⅱ 事業報告

1 情報収集・提供事業（一般会計）

11月26日（木）～28日（土）に名古屋国際会議場で開催された第23回日本エイズ学会学術集会・総会を後援するとともに、職員を派遣して情報の収集に努めた。

2 国際会議等事業（一般会計）

(1) アジア太平洋地域エイズソサエティ（ASAP）への参加

第9回アジア・太平洋地域エイズ国際会議が8月9日（日）～13日（木）にバリ島（インドネシア）で開催されたが、この会議の主催団体であるアジア太平洋地域エイズソサエティ（ASAP）に会員として参加、アジア・太平洋地域との情報交換を行った。

(2) 国際研修生の受け入れ

国際協力機構（JICA）事業によりわが国に研修に来ている外国人研修生を受け入れ、わが国のHIV感染症とその予防対策の状況、財団の概要などの講義を行った。

① JICA「地域母子保健強化」Aコース（沖縄県看護協会受け入れ）

6月12日（金） 南米の母子保健専門家12名

② JICA「地域格差是正のための保健行政システム改善」

9月18日（金） アフリカ地域（ケニア、タンザニア、スーダンなど）8名

③ JICA「地域母子保健強化」コース（沖縄県看護協会受け入れ）

11月5日（木） 東南アジア地域母子保健専門家11名

④ JICA「HIV/AIDSケアサービス管理展開プロジェクト」カウンターパート研修

11月18日（木） ザンビア 2名

⑤ JICA「地域母子保健強化」Bコース（沖縄県看護協会受け入れ）

2月16日（火） アフリカ諸国（アンゴラ、ニジェール、タンザニアなど）11名

3 ティーンエイジャー支援事業（一般会計）

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社からの寄付を受けて、高校生・中学生を中心とするティーンエイジャーを対象としたHIV／エイズ予防啓発活動で、①ティーンエイジャー自身が参画する活動、②ティーンエイジャーを指導・支援する人たちによる育成活動への資金助成を実施した。

実施に当たり、選考委員会を開催して助成団体を決定するとともに、団体間のネット

ワーク作りやモニタリング委員会による各団体へのモニタリング評価を行った。

平成21年度助成対象一覧

団体名	プロジェクト名	助成金額
IWATE：生と性及びエイズ教育を考える会（通称：LSA）	ティーンエージャーと教師がともに進める「生と性・AIDS教育」	700,000円
プロジェクト コネクト	学校を中心としたHIV感染予防プロジェクト	1,000,000円
神奈川性・エイズ教育実践研究会	第15回高校生エイズフォーラム	854,018円
ピアっ子あいち	FACE TO AIDS	473,200円
NPO法人えんばわめんと堺/ES	10代の性・生をともに考えるワークショップ	503,000円

4 大阪HIV検査センター支援事業（一般会計）

ブリストル・マイヤーズ株式会社からの寄付金及び米国ブリストル・マイヤーズ・スクイブ基金からの助成金を受けて、大阪検査相談・啓発・支援センター（chot CASTなんば）を開設し、同センターを大阪府・大阪市に提供することにより、HIV検査・相談等の事業を支援している。

また、今年度からこの施設において、啓発教育、カウンセリング、研修のプログラムをNGO等とともに実施している。

開設日：週4回（日曜、火曜、金曜、土曜）※平成21年10月から土曜日は休止

平成21年度稼働日数：156日

HIV検査受検者数：4,728名（うちHIV陽性者数26名）

5 日本エイズストップ基金の運営（日本エイズストップ基金特別会計）

エイズ対策に関する募金活動、チャリティ事業及び個人の寄付等の金銭的支援の受け皿として設置された日本エイズストップ基金の運営を行った。

(1) 第17回日本エイズストップ基金運営委員会

日 時：平成21年8月7日（金）14時00分～16時00分

場 所：エイズ予防財団会議室

議 事：平成20年度収支報告、平成21年度基金配分について

委 員：山本直樹・栗山昌子・小坂善治郎・田中好子（欠）・中村 博

(2) 助成事業・助成先（計15件 5,980,000円）

① エイズ患者・HIV感染者に対する社会的支援事業

1	NPO法人動くゲイとレズビアンのか（アカー）	400,000円
2	日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス	400,000円
3	ライフ・エイズ・プロジェクト（LAP）	400,000円
4	NPO法人レッドリボンさっぽろ	380,000円

② エイズ患者・HIV感染者等に対する電話相談事業

1	NPO法人AIDSネットワーク横浜	400,000円
2	人権と共生を考えるエイズワーカーズ福岡	400,000円
3	せかんどかみんぐあうと	400,000円
4	NPO法人りょうちゃんず	400,000円

③ エイズ予防啓発事業

1	NPO法人現代美術研究会	400,000円
2	HIV人権ネットワーク沖縄	400,000円
3	NPO法人在日中国人医師協会	400,000円
4	NPO法人ティーンズサポート	400,000円
5	NPO法人魅惑的倶楽部	400,000円
6	早稲田大学公認イベント企画サークルqoon	400,000円
7	wAds2009実行委員会	400,000円

(3) 普及啓発及びチャリティイベント事業

① 「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2009」でエイズ予防啓発

高校生ロックバンド選手権「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2009」本選大会において、主催者であるひたちなか青年会議所などの協力によりエイズ予防啓発のリーフレットなどを配布した。

日 時：平成21年4月26日（日）

場 所：国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市）

参加者：高校生等約15,000名

② 第58回日本医学検査学会（ケンサEXPO'09）での啓発

第58回日本医学検査学会（ケンサEXPO'09）において、アボットジャパン㈱が
出展したエイズ関連ブースを支援し、HIV検査等の普及活動を実施した。

日 時：平成21年7月31日（金）～8月1日（土）

場 所：パシフィコ横浜（横浜市）

③ アシェット婦人画報社との協力事業

同社の発行する月刊メンズクラブでエイズ予防に関する記事の編集に協力した。
6月号～12月号で7名の著名人によるエイズ予防啓発とチャリティオークション
のページが掲載され、チャリティとして1,756,130円の寄付を受けた。

④ リーバイ・ストラウス ジャパン㈱との協力事業

同社の実施する「Forever Blue」キャンペーンに協力した。個人の愛用してい
たジーンズ約13,000本をリーバイスのストアが引き取り、フリーマーケットやチ
ャリティオークション等で販売、2,191,734円の寄付を受けた。

⑤ アボットジャパン㈱との協力事業

同社の協力を得て、HIV検査促進を訴える中吊り広告を掲出した。

路 線：札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡各地のJR線

掲出期間：世界エイズデーの前後（11月下旬～12月上旬）

⑥ エイズチャリティ美術展でのエイズ予防啓発と募金活動

ハートアートコミュニケーションズの実施するチャリティ美術展において、エ
イズ予防啓発と募金活動を実施した。

実施期間：平成22年1月21日（木）～2月1日（月）

募金額：412,839円

⑦ アリコジャパン及び同全国代理店会連合会との協力事業

同社の全面的な支援を受け、年間を通してエイズ予防啓発パンフレットの個人
（家庭）や法人への配布など、エイズ予防啓発と寄付活動を展開した。22,281,095
円の寄付を受けた。

⑧ 地域イベント等の普及啓発と募金活動

地域で行われている祭りや催事等にブースを設置し、パンフレット等の配布を
行い、併せて募金活動を実施した。

「物江民夫リサイタル」（東京芸術劇場、5月）／「水戸神輿祭り」（茨城県水戸
市、8月）／京都府理容組合「理容競技会」（9月）／「STOP AIDS !ロシュ・サ
ンスターチャリティ古本市」（東京都港区、10月）／「9thアール・エスポワール
チャリティ美術展」（世田谷美術館、12月）／「浜松オートレース場」（静岡県浜
松市、11～12月）／「ゴールデンチャイルドBOXING （金子ボクシングジム協

力)」(東京都文京区後楽園ホール、4/19、6/16、9/10、12/9、2/8、3/26) ほか

6 水道橋三崎町クリニックの運営(水道橋三崎町クリニック特別会計)

水道橋三崎町クリニックにおいて夜間や休日に診療を行うとともに、HIV検査受検促進を目的とし、HIV、B型肝炎、梅毒の即日検査を実施した。

なお、同クリニックは、財政上の問題から運営継続が困難と判断し、休止した。受診者に対しては周知を徹底し、休止に至る状況の理解を得るとともに、他院への紹介を行った。関係機関等に連絡のうえ、診療、検査は平成21年6月まで実施の後、平成21年8月19日(水)に千代田保健所に廃業届を提出し、受理された。

平成21年4月から6月までの来院者数は延べ181名、うちHIV検査受検者数は99名であった。

7 エイズ予防対策事業(厚生労働省委託費)

(1) 血液凝固異常症実態調査事業

血液製剤を通じてHIVに感染した血友病患者を中心に、血液凝固異常症の病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、血液凝固異常症患者を治療している全国の医療機関で調査を実施した。

6月26日(金)に1,362施設、1,500担当医等に調査票を送付し、664施設、750担当医等から回答を得た。

報告書を各医療機関の担当医・患者等に提供し、調査結果をフィードバックすることにより患者の治療とQOLの向上を図っている。

実施に当たり財団内に運営委員会を設置し、精度及び専門性の確保を図っている。

① 第1回運営委員会

日 時：平成21年5月20日(水) 15時00分～17時00分

場 所：結核予防会会議室

議 事：平成21年度の調査方法、高年齢の症例数の取り扱いについて

② 第2回運営委員会

日 時：平成22年3月3日(水) 15時00分～17時00分

場 所：結核予防会会議室

議 事：調査票の回収状況、同意の取得状況、報告書について

(2) HIV感染者等保健福祉相談事業

① エイズ治療中核拠点病院相談事業

平成18年度に創設されたエイズ治療中核拠点病院に相談員を配置し、HIV感染者・患者等への心理的援助を行った。

(ア) 医療機関（25機関）

岩手医科大学病院／大館市立総合病院／群馬大学病院／都立駒込病院／東京慈恵医大病院／横浜市立病院／新潟大学病院／三重医科大学病院／岐阜医科大学病院／豊橋市民病院／福井医科大学病院／市立堺病院／兵庫医科大学病院／京都大学病院／奈良医科大学病院／滋賀医科大学病院／島根大学病院／高知大学病院／産業医科大学病院／長崎大学病院／佐賀大学病院／県立宮崎病院／熊本大学病院／鹿児島大学病院／琉球大学病院

(イ) 相談員連絡協議会の開催

相談の精度確保及び均てん化を図るため、ブロック拠点病院カウンセラーを招き、全国の相談員が一同に集まり、情報・意見交換を行った。

日 時：平成21年12月12日（土）

場 所：東京都

参加者：23名

② HIV検査・相談事業

HIV検査受検者数の拡大を図るため、休日、夜間等利便性に配慮した検査・相談を実施した。

(ア) 定期的なHIV検査を6地域において実施した。

札幌市／さいたま市／千代田区／横浜市／大阪市／長崎市

(イ) HIV検査週間や世界エイズデーに合わせ、臨時のHIV検査を10回実施した。うち1回は水道橋三崎町クリニックにて実施した。

③ 専門相談員による電話相談

財団内に電話相談室を設置し、専門相談員による電話相談をフリーダイヤルで実施した（開設時間は月曜から金曜までの毎日、午前10時から午後1時、午後2時から5時まで）。

また、相談員の研鑽のための内部研修を7月18日（土）に実施した。検査、精神科医療の専門家を招き、専門的な知識を学ぶとともに、事例検討を通して電話相談の役割を検討した。

④ 電話自動応答システム（JFAPエイズサポートライン）により、8カ国語でのエイ

ズ予防情報の提供を行った。システムは東京、神戸、福岡に設置している。なお、福岡は平成22年2月で終了した。

(3) ボランティア指導者育成事業

エイズNGO活動におけるリーダー養成のため、NGO指導者研修会を開催した。今年度は、より積極的なボランティア活動を展開するための資金調達に重点を置いた。

なお、各NGOの相互理解、情報共有及び交流を図るため、プログラムの一部は通訳研修会（相談員養成研修事業）と合同で実施した。

日 時：平成22年2月27日（土）～28日（日）

場 所：東京都

参加者：23名

(4) 相談員養成研修事業

HIV感染症・エイズに関する相談体制の質の向上、量的充実を図るため、相談員養成研修会を実施した。

① エイズ予防・ケア研修会（入門編）

日 時：平成21年7月2日（木）～3日（金）

場 所：東京都

参加者：95名

② HIV検査・相談研修会（応用編）

日 時：平成21年8月27日（木）～28日（金）

場 所：東京都

参加者：35名

③ エイズ予防・ケア研修会（入門編）

日 時：平成21年10月3日（土）～4日（日）

場 所：金沢市

参加者：50名

④ HIV検査・相談研修会（基礎編）

日 時：平成21年11月5日（木）～6日（金）

場 所：大阪市

参加者：45名

⑤ ケア合同研修会（応用編）

日 時：平成22年1月21日（木）～22日（金）

場 所：東京都

参加者：72名

⑥ 通訳研修会

日 時：平成22年2月27日（土）～28日（日）

場 所：東京都

参加者：13名

(5) エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業

エイズ治療の拠点病院における診療能力の向上及びHIV／エイズ診療のリーダー的役割を担う人材の育成を図るため、エイズ診療の経験豊富な海外医療機関に医療従事者を派遣し、臨床実地研修を実施した。

① ロサンゼルス

南カリフォルニア大学ケック医学部

(7)日 程：11月7日（土）～22日（日）

参加者：医師等（中・上級者）1名

(4)日 程：1月30日（土）～2月14日（日）

参加者：医師等（中・上級者）1名

② サンフランシスコ（医師コース）

カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

日 程：10月24日（土）～11月8日（日）

参加者：医師等（初・中級者）5名

③ サンフランシスコ（看護師コース）

カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校

(7)日 程：12月5日（土）～20日（日）

参加者：看護師等3名

(4)日 程：1月16日（土）～30日（日）

参加者：看護師等4名

(6) エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開催事業

エイズ治療拠点病院の整備状況、今後の拠点病院の在り方等について意見交換を実施するため、厚生労働省で開催された「中央運営協議会」に合わせて、エイズ治療ブロック拠点病院長会議を開催した。

日 時：平成22年3月9日（火）16時30分～17時30分

場 所：日比谷松本楼（千代田区日比谷公園）

(7) HIV診療医師情報網支援事業

HIV感染症の臨床医等による交流等の連携を図るため各ブロックに情報網を設置し、症例検討会、講演会、ネットワーク紙の発行を実施した。

支援先：① 東北HIV診療支援ネット

② HIV感染症の医療体制構築を目指すネットワーク（新潟）

③ 東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会

④ 北陸HIV臨床談話会

⑤ 関西HIV臨床カンファレンス

⑥ 岡山HIV診療ネットワーク

⑦ 九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議

(8) エイズ国際会議研究者等派遣事業

平成21年8月9日～13日にバリ島（インドネシア）で開催された第9回アジア・太平洋地域エイズ国際会議への研究者、NGO、医療従事者等の派遣を助成し、各国参加者との意見交換及びエイズに関する最新の知見を得させることにより、エイズ対策の広範な充実、活性化を図った。

また、会場内にブースを出展し、日本のエイズの現状とエイズ対策、NPO・NGO等の活動の取り組み等の情報提供を行った。

派遣人数：24名

(9) エイズ国際協力計画推進事業

平成6年度から20年度までの間、結核予防会結核研究所と連携してアジア地域のエイズ専門家を日本に招き、「アジア地域エイズ専門家研修」を実施したが、これら研修生へのインタビューなどを通じて、この研修の評価と、今後の国際協力のありかたを探った。

① タイ、カンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマー：

平成22年2月7日（日）～15日（月）

② フィリピン：平成22年3月10日（水）～13日（土）

③ インド、スリランカ：平成22年3月7日（日）～13日（土）

(10) エイズ知識啓発普及事業

① 「世界エイズデー」ポスターコンクール

全国の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒及び一般を対象に、HIV予防を呼

びかけるポスターコンクールを実施し、受賞作品はAPI-Net（エイズ予防情報ネット）で公表するとともに、「世界エイズデー」イベント会場においてパネル展示した。

募集期間：平成21年6月22日（月）～9月3日（木）

応募総数：375点

受賞作品：24点

(7) 第1次審査会

日 時：平成21年9月17日（木）13時30分～16時00分

場 所：結核予防会会議室

(4) 本審査会

日 時：平成21年10月2日（金）14時00分～16時00分

場 所：家の光会館

(7) 表彰式

日 時：平成21年11月20日（金）15時30分～16時00分

場 所：結核予防会会議室

②「HIV検査普及週間」（6月1日～7日）の啓発普及事業

(7) キャンペーンイベントにおけるブースでの啓発活動

「RED RIBBON LIVE 2009 Spring ～HIV検査に行こう！～」

開催日：平成21年5月31日（日）17時00分～20時00分

会 場：SHIBUYA-AX（渋谷区神南）

主 催：厚生労働省

参加者：約500人

内 容：会場内にブースを設置し、来場者への啓発を行った。

(4) 街頭キャンペーンの実施

HIV検査普及週間の告知と保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、自治体、NGO、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

実施日：平成21年5月31日（日）14時00分～16時00分

実施場所：渋谷駅ハチ公前周辺

参加者数：約40名

配布物：予防啓発グッズ等 1,710セット

※3,200セット配布予定だったが大雨により途中終了

(d) HIV検査普及週間前後の期間に各自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の実施体制等について情報収集し、API-Netで公開した。

(e) HIV検査普及週間のポスターを(社)ACジャパンの協力を得て作成し、各自治体等を通じて全国で掲示した。

ポスター名:「検査に行くということ(TERU)」

③「世界エイズデー」(12月1日)の啓発普及事業

(7) 街頭キャンペーンの実施

世界エイズデーの告知と保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

(I) 大阪での街頭キャンペーン

アメリカ村三角公園(御津公園)での「レッドリボンライブ」に合わせて、公園周辺にてNGO、ボランティア、民間企業と協力してエイズ予防啓発グッズ・パンフレット等約1,000セットを配布した。

実施日:平成21年11月23日(月・祝)13時00分～17時00分

(II) 東京での街頭キャンペーン

渋谷駅周辺において、NGO、ボランティアと協力してエイズ予防啓発グッズ・パンフレット等約3,200セットを配布した。

実施日:平成21年11月28日(土)12時00分～15時00分

(4) 世界エイズデー・キャンペーンイベントの実施

「RED RIBBON LIVE 2009」の会場に展示ブースを設置して来場者への啓発を図るとともに、エイズ予防啓発グッズ・パンフレット等を配布した。また、世界エイズデーポスターコンクールの入賞作品を展示した。

実施日:平成21年11月28日(土)17時30分～21時00分

(b) インターネット等による啓発と情報提供

世界エイズデー前後の期間に各自治体で実施されるイベントやHIV検査・相談の実施体制等について情報収集し、API-Netで公開した。

(c) 交通広告による啓発普及

京浜急行電鉄と連携し、電車内・駅構内での広告やラッピング電車など、交通広告等による啓発活動を展開した。11月29日(日)から12月13日(日)まで8両1編成電車が成田ー羽田空港ー三崎口間で走ったほか、京急線全車両に車内ポスターを、京急線全駅・京急関連施設にHIV感染症予防啓発ポスターを掲出した。

また、12月1日（火）からは京急線羽田空港駅でエイズ予防のポスターやフラッグを集中的に掲示し、啓発普及を図った。

(d) 世界エイズデーにあわせポスターを作成し、全国の自治体に送付した。

(h) 若者向け雑誌の特集

11月25日（水）発行の『Tokyo graffiti』誌に「世界エイズデー」特集を掲載し、エイズ関連のNGOで活躍する若手スタッフの何人かに焦点を当て紹介するとともに、広く若者にエイズに対する関心をもつようアピールした。

(k) 国連合同エイズ計画（UNAIDS）発行の冊子の翻訳と配布

UNAIDSが世界エイズデー直前に出版した次の2点の出版物について、UNAIDSの許諾の下、日本語に翻訳、発行した。これらの冊子は、HIV/AIDSに取り組む関係諸機関（エイズ治療拠点病院、NGO、都道府県エイズ担当課、国際協力団体など）に無料提供するとともに、API-Netに公開した。

(I) 「09 HIV/AIDS最新情報」（原題：09 AIDS epidemic update）

内容：例年、12月1日の世界エイズデーの直前にUNAIDSから発表されるHIV/AIDSの最新情報

(II) 「OUTLOOK」（HIV/エイズ対策の展望2010）（原題：OUTLOOK）

内容：上記「HIV/AIDS最新情報」の内容をより具体的に気軽に手にとって読めるような内容にした雑誌

④ 早稲田大学生向け啓発キャンペーンの実施

早稲田大学の協力により、入学式の4月1日（火）に早稲田キャンパスにおいて新入生に啓発グッズ1,200セットを配布した。また、4月2日（水）から18日（土）にかけて、在校生の健康診断会場（早稲田キャンパス・西早稲田キャンパス・所沢キャンパス）において啓発グッズ約14,000セットを配布した。

⑤ 小冊子・リーフレット・啓発グッズの作成・配布

エイズ予防のパンフレット等を作成し、自治体等に配布した。また、提供できるパンフレット、啓発グッズをAPI-Netに公開し、自治体等からの要請に応じるシステムを立ち上げた。

⑥ 海外渡航者向けの小冊子を作成し、全国の空港等に設置して海外渡航者に配布した。

⑦ エイズNGO情報の発信

全国のHIV感染症／エイズ予防活動に取り組むNGOの情報を収集し、API-Net

上にて発信した。

掲載NGO数：110団体

⑧ 講師の派遣

HIV感染症／エイズに関する知識の啓発普及等のため、行政機関、団体、学校等に講師として職員を派遣した。

東京エイズサミット2009（早稲田大学公認イベントサークルqoon）／大東文化大学／はばたき福祉事業団／長崎大学等

⑨ 日本エイズ学会学術集会・総会の会場にブースを展示して啓発普及を図った。

(11) エイズ予防情報センター事業

「エイズ予防情報ネット（API-Net）」を運営し、エイズ患者・感染者やその家族、一般国民、医療関係者等に対し、エイズに関する啓発情報、HIV検査情報、NGO活動情報等をホームページで情報提供を行った。

・「HIV検査・相談窓口」等の情報サービスの実施

全国の保健所における検査日時や場所、予約の方法、電話相談等についての情報提供（定期更新）を行った。

・サイトの再構築

利用者のより一層の利便性の向上を図るため、エイズ予防情報ネットの再構成や各種検索機能の搭載を行うとともに、デザインも一新した。

アクセス件数：343,330件

(12) 青少年エイズ対策事業

青少年を対象とする、科学的根拠に基づいたエイズ予防事業の実施を目的に、①保健所のエイズ対策担当者、②小学校・中学校・高等学校の教師（保健室の養護教諭等）を対象とした研修会を実施した。

① 保健所プロジェクト

日 時：平成21年7月22日（水）、23日（木）

場 所：京都ガーデンパレス

参加者数：20保健所21名

②保健室プロジェクト

中学校用研修会

日 時：平成21年8月25日（火）

場 所：京都大学百周年時計台記念館

高等学校用研修会

日 時：平成21年8月18日（火）

場 所：京都大学百周年時計台記念館

参加校数：78校（中学校43校、高等学校35校）

参加者数：90名（中学校48名、高等学校42名）

(13) エイズ治療啓発普及事業

エイズ治療に関する最新の情報を整理・提供し、エイズに対する差別・偏見の軽減に寄与するため、次の事業を実施した。

・エイズリポートの発行

HIV/エイズ対策に関係する人々の情報交換ツールとして、自治体、エイズ治療拠点病院、研究者、NGO等に配布した。

年4回発行：84号（4月）、85号（7月）、86号（10月）、87号（1月）

8 同性愛者等に対するHIV／エイズ予防対策事業（厚生労働省委託費）

同性愛者に対して、エイズに関する正しい知識の普及、予防行動やHIV検査受検行動の促進を図るため、HIV／エイズに関する情報提供を行うコミュニティセンターの設置・運営及び同性愛者向けのエイズ予防啓発事業を実施した。

(1) 連絡協議会の設置

事業活動の方針を協議し、事業の目的に沿った運営を行うための連絡協議会を設置し、協議を行った。

① 日 時：平成21年6月13日（土）12時30分～14時00分

場 所：名古屋市立大学看護学部会議室

② 日 時：平成22年3月13日（土）12時00分～14時30分

場 所：エイズ予防財団会議室

(2) コミュニティセンターの設置・運営

エイズ予防対策事業の一環として平成20年度までに開設していた、東京（akta）、名古屋（rise）、大阪（dista）、福岡（haco）の各コミュニティセンターについて、財団とそれぞれの運営実施団体との役割、責任等を再確認し、運営体制の強化を図った。

仙台市（ZEL）及び那覇市（mabui）のコミュニティセンター開設に当たっては、地元NGOの協力が得られ、場所の選定からセンターの運営コンセプトにいたるまで、地域の実情に即したものとすることができた。

また、管理・運営体制を強化するために、akta、dista、hacoにおいてそれぞれ新規の職員を、その他センターでは賃金職員を雇用した。

(3) 予防啓発研修会の実施

MSMのためのHIV予防啓発に特化した研修会を実施

(4) 各地のイベントでの参加

各地域で行われる同性愛者を主な対象とするイベントに参加し、HIV感染症／エイズ予防を呼びかけた。

(ア) 東京プライドフェスティバル

日 時：平成21年5月23日（土）

場 所：代々木公園

内 容：ブース出展による啓発活動

(イ) レインボーマーチ札幌

日 時：平成21年9月21日（月・祝）

場 所：札幌市大通公園

内 容：ブース出展と地元NGOとの共同による啓発活動

(ウ) 大阪PLuS+2009

日 時：平成21年10月11日（日）

場 所：大阪市扇町公園

内 容：ブース出展、資材提供による啓発活動

(5) その他

厚生労働省の主催するHIV/AIDSの対策に関する東南アジア行政官会議（東京、平成22年2月4日（木）・5日（金））において、わが国の同性愛者等向けHIV感染症／エイズ予防活動の一例として、本コミュニティセンター事業の紹介を行った。

9 エイズ対策研究推進事業（厚生労働科学研究費補助金）

(1) エイズ対策研究推進事業運営委員会

日 時：平成22年3月24日（火）

会 場：結核予防会会議室

内 容：平成22年度事業応募申請の採択等について

(2) 外国人研究者招へい事業

・招へい人数 2名

- ・招へい内訳（国別） 米国 2名
- (3) 外国の研究機関等への委託事業
 - ・委託件数 1件
 - ・委託内訳（国別） 米国 1件
- (4) 若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント）
 - ・人数 72名
 - 国立感染症研究所等研究機関（21機関） 33名
 - ブロック拠点病院等（10機関） 39名
- (5) 研究成果等普及啓発事業
 - ・研究成果発表会（国民向け）
 - 開催回数 18件（42回）
 - <テーマ>
 - ① エイズとエイズリンパ腫治療の最前線 2回
 - ② 在日外国人HIV陽性者療養支援について 3回
 - ③ 慢性疾患としてHIV／エイズ治療の問題点と展望 2回
 - ④ HIV陽性者の社会生活と地域における支援環境 1回
 - ⑤ 男性同性間のHIV感染対策とその介入効果啓発普及に関する成果発表 3回
 - ⑥ MSM向けHIV感染対策の推進と評価に関する研究 1回
 - ⑦ 東京地域における男性同性間のHIV感染対策とその介入効果に関する研究成果（Rainbow Ringの活動紹介および啓発資材の展示） 2回
 - ⑧ 保健、医療サービスへのアクセスと医療倫理 1回
 - ⑨ 日本のエイズー全国インターネット調査から見た性的指向と健康問題 3回
 - ⑩ わが国におけるHIV感染症～周産期・小児期～予防と対策 3回
 - ⑪ 地方公共団体－NPO連携によるHIV対策－検査事業の普及－ 3回
 - ⑫ MSM対象のワークショップ型普及啓発－予防行動・受検行動の促進－ 2回
 - ⑬ セックスワーカーのいるまち2009 3回
 - ⑭ Sexual Live for Women 2009 3回
 - ⑮ 滞日外国人と性の健康 3回
 - ⑯ HIV/AIDS患者の在宅療養支援 1回
 - ⑰ HIV感染者に対するカウンセリング体制の現状と今後の課題 2回
 - ⑱ HIV診療支援ネットワークの現状と次期システムに求められるもの 3回

10 エイズ予防のための戦略研究事業（厚生労働科学研究費補助金）

研究課題：首都圏及び阪神圏の男性同性愛者を対象とした介入試験

研究リーダー：名古屋市立大学看護学部 教授 市川誠一

(1) 研究要旨

エイズ予防のための戦略研究は、HIV検査を2倍に増加させ、エイズ発症患者を25%減少させることを目標としている。この主目標を受けて、首都圏及び阪神圏に居住するMSM（男性と性的接触を有する男性）を対象に介入試験を行い、どのようなHIV検査促進啓発普及プログラムが、HIV検査件数の増加、AIDS発症者の抑制を図るために有効であるかを検討した。この戦略研究は、平成18年度から5年間の研究として開始され、平成21年度は4年目である。

(2) 研究方法

研究計画に基づき、啓発、検査、相談、評価調査のための研究体制の調整と構築を進めつつ、首都圏及び阪神圏において、1) HIV抗体検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発と普及、2) HIV抗体検査の整備と拡大、3) 相談体制の整備—HIV検査で陽性が判明した患者への受診支援の整備等—、4) 評価調査体制の整備と調査の実施を行った。

※研究課題2「都市在住者を対象としたHIV新規感染者及びAIDS発症者を減少させるための効果的な広報戦略の開発」は平成20年度で中止となった。

(3) 委員会の開催

第5回倫理審査委員会（平成21年4月30日）：結核予防会会議室

第9回運営委員会（平成21年6月29日）：結核予防会会議室

第10回運営委員会（平成22年3月8日）：東京通信病院会議室

第7回流動研究員選考委員会（平成22年3月8日）：東京通信病院会議室

11 その他事業（一般会計）

出版社等の発行する小冊子、リーフレット等の監修を行い、監修名義を付与した。

自治体・企業・団体等が主催するHIV感染症／エイズに関する講演会、チャリティイベント等に後援名義を付与した。

平成21年度
決 算 報 告 書

財団法人エイズ予防財団

監査報告書

平成22年6月8日

財団法人エイズ予防財団

理事長 木村 哲 殿

財団法人エイズ予防財団

監事

御手洗 康 

私は、平成21年4月1日から平成22年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を実施し、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、平成22年6月8日に帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表等の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会に出席するとともに、その他重要な会議に出席し、平成22年6月8日に理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の平成21年度末日現在の財政状態及び同事業年度の正味財産増減の状況並びに収支の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為、または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないと認める。

以上

独立監査人の監査報告書

平成22年6月3日

財団法人エイズ予防財団

理事長 木村 哲 殿

監査法人薄衣佐吉事務所

代表社員 公認会計士

田村 都彦 

業務執行社員 公認会計士

田所 貴広 

当監査法人は、財団法人エイズ予防財団の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの平成21年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

記

I 財務諸表

1. 一般会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. エイズ予防対策事業特別会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. エイズ対策研究推進事業特別会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
4. 日本エイズストップ基金特別会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
5. エイズ対策戦略研究事業特別会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
6. 水道橋三崎町クリニック特別会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
7. 同性愛者等に対するHIV/エイズ予防対策事業特別会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
8. 貸借対照表総括表
9. 正味財産増減計算書総括表
10. キャッシュ・フロー計算書
11. 財産目録

Ⅱ 収支計算書

1. 一般会計の収支計算書
2. エイズ予防対策事業特別会計の収支計算書
3. エイズ対策研究推進事業特別会計の収支計算書
4. 日本エイズストップ基金特別会計の収支計算書
5. エイズ対策戦略研究事業特別会計の収支計算書
6. 水道橋三崎町クリニック特別会計の収支計算書
7. 同性愛者等に対する HIV/エイズ予防対策事業特別会計の収支計算書
8. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、当監査法人の意見は次のとおりである。

(1) 当監査法人は、財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人エイズ予防財団の平成 21 年度の当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

(2) 当監査法人は、収支計算書が、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成 17 年 3 月 23 日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人エイズ予防財団の平成 21 年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人エイズ予防財団と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

一般会計貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,679,341	13,622,164	57,177
未収金	1,589,359	2,814,049	△ 1,224,690
前払金	47,177	503,942	△ 456,765
前払費用	18,504,459	20,231,844	△ 1,727,385
貯蔵品	—	11,270	△ 11,270
有価証券	—	3,446,990	△ 3,446,990
立替金	—	499,000	△ 499,000
他会計勘定	—	10,310,846	△ 10,310,846
仮払金	80,652	—	80,652
流動資産合計	33,900,988	51,440,105	△ 17,539,117
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	92,203	27,118	65,085
定期預金	199,680,000	199,680,000	0
投資有価証券	250,227,797	250,292,882	△ 65,085
基本財産合計	450,000,000	450,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	28,687,385	27,150,775	1,536,610
大阪検査センター積立預金	—	3,212,349	△ 3,212,349
ティーンエージャー事業積立預金	470,763	1,419,852	△ 949,089
特定資産合計	29,158,148	31,782,976	△ 2,624,828
(3) その他固定資産			
什器備品	31,409,751	23,059,196	8,350,555
リース資産	3,329,166	4,216,943	△ 887,777
電話加入権	188,584	188,584	0
ソフトウェア	1,860,197	281,610	1,578,587
保証金	5,604,320	12,191,840	△ 6,587,520
長期前払費用	—	8,369,705	△ 8,369,705
その他固定資産合計	42,392,018	48,307,878	△ 5,915,860
固定資産合計	521,550,166	530,090,854	△ 8,540,688
資産合計	555,451,154	581,530,959	△ 26,079,805
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,055,251	868,481	186,770
未払費用	4,759,468	5,634,292	△ 874,824
預り金	14,672,960	11,336,756	3,336,204
未払消費税	109,368	—	109,368
他会計勘定	3,868,350	1,730	3,866,620
流動負債合計	24,465,397	17,841,259	6,624,138

2. 固定負債			
退職給付引当金	28,687,385	27,150,775	1,536,610
リース債務	3,449,250	4,369,050	△ 919,800
固定負債合計	32,136,635	31,519,825	616,810
負債合計	56,602,032	49,361,084	7,240,948
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	30,470,763	31,419,852	△ 949,089
助成金	—	3,212,349	△ 3,212,349
指定正味財産合計	30,470,763	34,632,201	△ 4,161,438
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(470,763)	(4,632,201)	(△ 4,161,438)
2. 一般正味財産	468,378,359	497,537,674	△ 29,159,315
(うち基本財産への充当額)	(420,000,000)	(420,000,000)	(0)
正味財産合計	498,849,122	532,169,875	△ 33,320,753
負債及び正味財産合計	555,451,154	581,530,959	△ 26,079,805

一般会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	6,628,885	8,290,368	△ 1,661,483
② 受取寄付金	18,246,814	51,146,548	△ 32,899,734
受取寄附金	6,162,871	7,029,388	△ 866,517
指定正味財産からの振替	12,046,955	44,117,160	△ 32,070,205
募金収益	36,988	—	36,988
③ 雑収益	1,870,188	3,533,385	△ 1,663,197
受取利息	4,824	24,637	△ 19,813
その他雑収益	1,865,364	3,508,748	△ 1,643,384
④ 他会計からの繰入額	1,830,870	1,515,249	315,621
経常収益計	28,576,757	64,485,550	△ 35,908,793
(2) 経常費用			
① 事業費	60,133,652	55,818,423	4,315,229
給料手当	0	3,124,690	△ 3,124,690
臨時雇賃金	884,590	160,890	723,700
法定福利費	130,114	1,431,929	△ 1,301,815
退職給付費用	2,960,410	6,138,435	△ 3,178,025
旅費交通費	1,330,890	1,389,750	△ 58,860
減価償却費	4,628,487	3,066,493	1,561,994
光熱水料費	2,368,532	2,605,123	△ 236,591
賃借料	27,769,783	28,237,818	△ 468,035
諸謝金	1,250,840	270,300	980,540
助成金	3,676,200	2,854,009	822,191
委託費	3,963,140	—	3,963,140
雑費	2,771,534	2,809,783	△ 38,249
雑役務費	599,115	1,650,722	△ 1,051,607
事務所改装費	5,791,096	—	5,791,096
その他事業費	2,008,921	2,078,481	△ 69,560
② 管理費	3,735,063	12,684,309	△ 8,949,246
役員報酬	677,750	8,066,400	△ 7,388,650
法定福利費	64,852	744,920	△ 680,068
旅費交通費	702,710	631,415	71,295
委託費	1,680,000	1,680,000	0
その他管理費	609,751	1,561,574	△ 951,823
③ 他会計への繰出額	595,835	974	594,861
経常費用計	64,464,550	68,503,706	△ 4,039,156
当期経常増減額	△ 35,887,793	△ 4,018,156	△ 31,869,637

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産会計間移動額	12,486,880	—	12,486,880
② 過払い賃借料返還額	5,633,712	—	5,633,712
③ 過年度未払費用戻入額	874,824	—	874,824
経常外収益計	18,995,416	0	18,995,416
(2) 経常外費用			
① クリニック特別会計への操出額	11,718,033	—	11,718,033
② 雑損失	548,905	—	548,905
経常外費用計	12,266,938	0	12,266,938
当期経常外増減額	6,728,478	0	6,728,478
当期一般正味財産増減額	△ 29,159,315	△ 4,018,156	△ 25,141,159
一般正味財産期首残高	497,537,674	501,555,830	△ 4,018,156
一般正味財産期末残高	468,378,359	497,537,674	△ 29,159,315
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄附金	3,980,148	20,000,000	△ 16,019,852
② 受取民間助成金	3,905,369	4,092,870	△ 187,501
③ 一般正味財産への振替額	△ 12,046,955	△ 44,117,160	32,070,205
当期指定正味財産増減額	△ 4,161,438	△ 20,024,290	15,862,852
指定正味財産期首残高	34,632,201	54,656,491	△ 20,024,290
指定正味財産期末残高	30,470,763	34,632,201	△ 4,161,438
III 正味財産期末残高	498,849,122	532,169,875	△ 33,320,753

一般会計財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券：償却原価法によっている。

その他有価証券：決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 定額法（リース資産を除く）

② 無形固定資産 定額法（リース資産を除く）

なお自己利用のソフトウェアについては当財団内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用している。

③ リース資産

・所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	27,118	65,085	—	92,203
投資有価証券	250,292,882	—	65,085	250,227,797
定期預金	199,680,000	399,360,000	399,360,000	199,680,000
小 計	450,000,000	399,425,085	399,425,085	450,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	27,150,775	2,960,410	1,423,800	28,687,385
大阪検査センター積立預金	3,212,349	3,905,369	7,117,718	0
ティーンエージャー事業積立預金	1,419,852	3,980,148	4,929,237	470,763
小 計	31,782,976	10,845,927	13,470,755	29,158,148
合 計	481,782,976	410,271,012	412,895,840	479,158,148

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	92,203	—	(92,203)	—
投資有価証券	250,227,797	—	(250,227,797)	—
定期預金	199,680,000	(30,000,000)	(169,680,000)	—
小 計	450,000,000	(30,000,000)	(420,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	28,687,385	—	—	(28,687,385)
ティーンエージャー事業積立預金	470,763	(470,763)	—	—
小 計	29,158,148	(470,763)	—	(28,687,385)
合 計	479,158,148	(30,470,763)	(420,000,000)	(28,687,385)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	43,759,325	12,349,574	31,409,751
ソフトウェア	4,833,775	2,973,578	1,860,197
リース資産	4,438,887	1,109,721	3,329,166
合 計	53,031,987	16,432,873	36,599,114

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
MLパワーリバースコール債3309	20,000,000	13,972,000	△ 6,028,000
MLパワーデュアルコール債3409	30,000,000	21,756,000	△ 8,244,000
MLパワーリバース債3601	50,000,000	35,010,000	△ 14,990,000
MLパワーリバース債3603-3	50,000,000	35,730,000	△ 14,270,000
小計	150,000,000	106,468,000	△ 43,532,000
第76回利付国債(5年)	100,227,797	102,990,000	2,762,203
合 計	250,227,797	209,458,000	△ 40,769,797

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金	(財)笹川記念 保健協力財団	30,000,000	—	—	30,000,000	指定正味財産
寄付金・助成金	ブリストル・マイ ヤーズ社	3,212,349	3,905,369	7,117,718	0	—
寄付金	ジョンソン・エンド・ ジョンソン株式会社	1,419,852	3,980,148	4,929,237	470,763	特定資産
合 計		34,632,201	7,885,517	12,046,955	30,470,763	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的事業実施による振替額	12,046,955
合 計	12,046,955

8. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

9. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△ 28,687,385
②退職給付引当金 (①)	△ 28,687,385

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	2,960,410
②退職給付費用 (①)	2,960,410

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

10. リース取引関係

ファイナンス・リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

リース資産 富士ゼロックス東京株式会社 カラー複合機

エイズ予防対策事業特別会計貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
未収金	—	1,000,000	△ 1,000,000
流動資産合計	0	1,000,000	△ 1,000,000
資産合計	0	1,000,000	△ 1,000,000
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	—	1,000,000	△ 1,000,000
流動負債合計	0	1,000,000	△ 1,000,000
負債合計	0	1,000,000	△ 1,000,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	—	—	—
2. 一般正味財産	—	—	—
正味財産合計	—	—	—
負債及び正味財産合計	0	1,000,000	△ 1,000,000

エイズ予防対策事業特別会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取委託金	301,720,000	442,071,000	△ 140,351,000
②一般会計からの繰入額	400,884	—	400,884
経常収益計	302,120,884	442,071,000	△ 139,950,116
(2) 経常費用			
①事業費	302,120,884	441,071,000	△ 138,950,116
給料手当	42,981,796	22,800,677	20,181,119
臨時雇賃金	11,715,360	23,257,263	△ 11,541,903
法定福利費	5,292,937	4,930,348	362,589
旅費交通費	13,294,065	34,894,943	△ 21,600,878
通信運搬費	8,169,569	12,214,813	△ 4,045,244
消耗品費	14,670,027	30,041,701	△ 15,371,674
印刷製本費	44,444,439	58,822,715	△ 14,378,276
賃借料	15,436,887	20,561,904	△ 5,125,017
諸謝金	3,962,225	5,795,782	△ 1,833,557
租税公課	4,140,818	3,537,500	603,318
委託費	—	10,000,000	△ 10,000,000
雑役務費	137,583,383	213,398,385	△ 75,815,002
その他事業費	429,378	814,969	△ 385,591
経常費用計	302,120,884	441,071,000	△ 138,950,116
当期経常増減額	0	1,000,000	△ 1,000,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①国庫委託金返還額	—	1,000,000	△ 1,000,000
経常外費用計	0	1,000,000	△ 1,000,000
当期経常外増減額	0	△ 1,000,000	1,000,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	0	0	0

エイズ予防対策事業特別会計財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

エイズ対策研究推進事業特別会計貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	34,528,807	16,600,000	17,928,807
一般会計勘定	476	—	476
流動資産合計	34,529,283	16,600,000	17,929,283
資産合計	34,529,283	16,600,000	17,929,283
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	34,503,558	16,600,000	17,903,558
預り金	25,725	—	25,725
流動負債合計	34,529,283	16,600,000	17,929,283
負債合計	34,529,283	16,600,000	17,929,283
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	—	—	—
2. 一般正味財産	—	—	—
正味財産合計	—	—	—
負債及び正味財産合計	34,529,283	16,600,000	17,929,283

エイズ対策研究推進事業特別会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取国庫補助金	360,980,000	422,829,000	△ 61,849,000
② 一般会計より繰入	476	—	476
経常収益計	360,980,476	422,829,000	△ 61,848,524
(2) 経常費用			
① 事業費	326,494,476	406,229,000	△ 79,734,524
リサーチレジデント給料手当	258,033,975	268,719,876	△ 10,685,901
法定福利費	34,718,070	35,685,381	△ 967,311
旅費交通費	5,064,221	13,474,735	△ 8,410,514
印刷製本費	878,246	12,805,474	△ 11,927,228
雑役務費	21,888,236	35,442,529	△ 13,554,293
研究委託費	4,890,000	15,500,000	△ 10,610,000
その他事業費	1,021,728	24,601,005	△ 23,579,277
経常費用計	326,494,476	406,229,000	△ 79,734,524
当期経常増減額	34,486,000	16,600,000	17,886,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 国庫補助金返還額	34,486,000	16,600,000	17,886,000
経常外費用計	34,486,000	16,600,000	17,886,000
当期経常外増減額	△ 34,486,000	△ 16,600,000	△ 17,886,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	0	0	0

エイズ対策研究推進事業特別会計財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
厚生労働科学研究費補助金	厚生労働省	—	360,980,000	360,980,000	—	—
合 計		—	360,980,000	360,980,000	—	

3. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

日本エイズストップ基金特別会計貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	54,932,066	46,712,390	8,219,676
前払金	24,000	200,000	△ 176,000
一般会計勘定	3,866,144	—	3,866,144
流動資産合計	58,822,210	46,912,390	11,909,820
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
その他固定資産合計	144,000	144,000	0
固定資産合計	144,000	144,000	0
資産合計	58,966,210	47,056,390	11,909,820
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,145	—	1,145
一般会計勘定	—	2,950	△ 2,950
戦略研究会計勘定	12,319,270	12,319,270	0
流動負債合計	12,320,415	12,322,220	△ 1,805
負債合計	12,320,415	12,322,220	△ 1,805
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	—	—	—
2. 一般正味財産	46,645,795	34,734,170	11,911,625
正味財産合計	46,645,795	34,734,170	11,911,625
負債及び正味財産合計	58,966,210	47,056,390	11,909,820

日本エイズストップ基金特別会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取寄付金	40,673,645	56,753,404	△ 16,079,759
受取寄付金	40,546,364	56,452,974	△ 15,906,610
募金収益	127,281	300,430	△ 173,149
② 雑収益	420	10,293	△ 9,873
経常収益計	40,674,065	56,763,697	△ 16,089,632
(2) 経常費用			
① 事業費	28,389,124	40,185,808	△ 11,796,684
給料手当	5,168,292	13,421,192	△ 8,252,900
法定福利費	799,336	885,465	△ 86,129
消耗品費	4,246,349	282,292	3,964,057
印刷製本費	10,080,000	17,818,500	△ 7,738,500
賃借料	1,530,710	2,400,000	△ 869,290
助成金	5,980,000	4,000,000	1,980,000
その他事業費	584,437	1,378,359	△ 793,922
② 一般会計への繰出額	373,316	173,900	199,416
経常費用計	28,762,440	40,359,708	△ 11,597,268
当期経常増減額	11,911,625	16,403,989	△ 4,492,364
当期一般正味財産増減額	11,911,625	16,403,989	△ 4,492,364
一般正味財産期首残高	34,734,170	18,330,181	16,403,989
一般正味財産期末残高	46,645,795	34,734,170	11,911,625
II 正味財産期末残高	46,645,795	34,734,170	11,911,625

日本エイズストップ基金特別会計財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

エイズ対策戦略研究事業特別会計貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
ストップ基金会計勘定	12,319,270	12,319,270	0
一般会計勘定	1,730	1,730	0
流動資産合計	12,321,000	12,321,000	0
資産合計	12,321,000	12,321,000	0
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,321,000	12,321,000	0
流動負債合計	12,321,000	12,321,000	0
負債合計	12,321,000	12,321,000	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	—	—	—
2. 一般正味財産	—	—	—
正味財産合計	—	—	—
負債及び正味財産合計	12,321,000	12,321,000	0

エイズ対策戦略研究事業特別会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取国庫補助金	170,000,000	300,000,000	△ 130,000,000
②雑収益	—	87	△ 87
③一般会計からの繰入額	24,844	974	23,870
経常収益計	170,024,844	300,001,061	△ 129,976,217
(2) 経常費用			
①事業費	170,024,844	289,986,061	△ 119,961,217
給料手当	56,715,286	58,789,035	△ 2,073,749
臨時雇賃金	5,095,401	11,280,427	△ 6,185,026
法定福利費	7,686,462	10,189,431	△ 2,502,969
旅費交通費	3,772,650	4,384,360	△ 611,710
消耗品費	1,717,942	2,754,049	△ 1,036,107
印刷製本費	3,171,380	9,744,715	△ 6,573,335
賃借料	3,864,474	8,276,959	△ 4,412,485
諸謝金	8,157,975	10,391,220	△ 2,233,245
雑役務費	59,049,463	153,101,228	△ 94,051,765
委託費	20,000,000	20,000,000	0
その他事業費	793,811	1,074,637	△ 280,826
経常費用計	170,024,844	289,986,061	△ 119,961,217
当期経常増減額	0	10,015,000	△ 10,015,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①国庫補助金返還額	0	10,015,000	△ 10,015,000
経常外費用計	0	10,015,000	△ 10,015,000
当期経常外増減額	0	△ 10,015,000	10,015,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	0	0	0

エイズ対策戦略研究事業特別会計財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
厚生労働科学研究費補助金	厚生労働省	—	170,000,000	170,000,000	—	—
合 計		—	170,000,000	170,000,000	—	

3. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

水道橋三崎町クリニック特別会計貸借対照表

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	—	30,000	△ 30,000
未収金	—	445,837	△ 445,837
前払金	—	11,940	△ 11,940
立替金	—	2,500	△ 2,500
仮払金	—	800	△ 800
流動資産合計	0	491,077	△ 491,077
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
什器備品	—	14,218,304	△ 14,218,304
ソフトウェア	—	2,068,949	△ 2,068,949
その他固定資産合計	0	16,287,253	△ 16,287,253
固定資産合計	0	16,287,253	△ 16,287,253
資産合計	0	16,778,330	△ 16,778,330
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	—	278,293	△ 278,293
一般会計勘定	—	10,307,896	△ 10,307,896
流動負債合計	0	10,586,189	△ 10,586,189
2. 固定負債	—	—	—
負債合計	0	10,586,189	△ 10,586,189
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	—	—	—
2. 一般正味財産	0	6,192,141	△ 6,192,141
正味財産合計	0	6,192,141	△ 6,192,141
負債及び正味財産合計	0	16,778,330	△ 16,778,330

水道橋三崎町クリニック特別会計正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 医業収益	1,744,837	6,963,777	△ 5,218,940
経常収益計	1,744,837	6,963,777	△ 5,218,940
(2) 経常費用			
① 事業費	4,830,657	11,831,017	△ 7,000,360
医業費用	4,830,657	11,831,017	△ 7,000,360
臨時雇賃金	2,411,735	2,683,272	△ 271,537
減価償却費	1,462,899	2,504,826	△ 1,041,927
賃借料	—	2,400,000	△ 2,400,000
委託費	426,092	2,216,234	△ 1,790,142
医療材料費	17,525	573,805	△ 556,280
雑役務費	263,550	707,910	△ 444,360
その他医業費	248,856	744,970	△ 496,114
経常費用計	4,830,657	11,831,017	△ 7,000,360
当期経常増減額	△ 3,085,820	△ 4,867,240	1,781,420
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
一般会計からの繰入額	11,718,033	—	11,718,033
経常外収益計	11,718,033	0	11,718,033
(2) 経常外費用			
① 固定資産会計間移動額	8,616,944	—	8,616,944
② 固定資産除却損	6,207,410	—	6,207,410
経常外費用計	14,824,354	0	14,824,354
当期経常外増減額	△ 3,106,321	0	△ 3,106,321
当期一般正味財産増減額	△ 6,192,141	△ 4,867,240	△ 1,324,901
一般正味財産期首残高	6,192,141	11,059,381	△ 4,867,240
一般正味財産期末残高	0	6,192,141	△ 6,192,141
II 正味財産期末残高	0	6,192,141	△ 6,192,141

水道橋三崎町クリニック特別会計財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 定額法（リース資産を除く）

② 無形固定資産 定額法（リース資産を除く）

なお自己利用のソフトウェアについては当財団内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

同性愛者等に対するHIV/エイズ予防対策事業特別会計 正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I. 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取委託金	45,743,000
② 雑収益	130
③ 一般会計からの繰入額	169,631
経常収益計	45,912,761
(2) 経常費用	
① 事業費	
給料手当	7,864,411
臨時雇賃金	3,661,125
法定福利費	1,003,374
旅費交通費	1,365,200
消耗品費	5,693,554
賃借料	16,357,470
諸謝金	1,542,250
雑役務費	1,709,631
その他事業費	2,845,810
経常費用計	42,042,825
当期経常増減額	3,869,936
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
① 固定資産会計間移動額	3,869,936
経常外費用計	3,869,936
当期経常外増減額	△ 3,869,936
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	0
一般正味財産期末残高	0
II 正味財産期末残高	0

同性愛者等に対するHIV/エイズ予防対策事業特別会計
財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

財産目録

平成22年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金手許有高	127,986	
普通預金	103,012,228	
みずほ銀行本店	100,748,786	
三井住友銀行本店	691,324	
三菱東京UFJ銀行麹町支店	977,217	
三菱東京UFJ銀行神保町支店	480,885	
日本郵政公社	114,016	
未収金（基本財産未収利息）	1,589,359	
前払金（4月分事務所賃借料）	71,177	
前払費用（大阪検査センター賃料H22.4～H23.2）	18,413,351	
（リース資産前払利息H22.4～H25.12）	91,108	
仮払金（社会保険料仮払）	80,652	
流動資産合計		123,385,861
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
普通預金 三菱東京UFJ銀行神保町支店	92,203	
定期預金 みずほ銀行本店	100,000,000	
定期預金 三菱東京UFJ銀行神保町支店	99,680,000	
投資有価証券 MLパワーリバースコール債3309(1口)	20,000,000	
MLパワーデュアルコール債3409(1口)	30,000,000	
MLパワーリバース債3601(1口)	50,000,000	
MLパワーリバース債3603-3(1口)	50,000,000	
第76回利付国債(5年)(1口)	100,227,797	
基本財産合計	450,000,000	
(2) 特定資産		
退職給付引当資産（みずほ銀行本店）	28,687,385	
ティーンエージャー事業積立預金（みずほ銀行本店）	470,763	
特定資産合計	29,158,148	
(3) その他固定資産		
什器備品（事務所パーティション他）	12,293,935	
大阪検査センター事業什器備品	15,703,937	
コミュニティセンター事業什器備品	3,411,879	
電話加入権	332,584	
ソフトウェア（電子カルテシステム他）	1,860,197	
保証金（事務所賃借保証金）	5,604,320	
リース資産（カラー複合機）	3,329,166	
その他固定資産合計	42,536,018	
固定資産合計		521,694,166
資産合計		645,080,027

Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
研究推進事業国庫補助金返還分	34,486,000		
戦略研究事業国庫補助金返還分	12,321,000		
3月分社会保険料事業主負担分	3,661,601		
3月分臨時雇賃金	1,660,828		
大阪検査センター共益費他	1,430,275		
未払費用（平成22年度夏季手当当期分）	4,759,468		
未払消費税	2,978,748		
預り金			
源泉徴収税預り金	1,356,377		
地方税預り金	1,209,600		
社会保険料預り金	3,584,578		
流動負債合計		67,448,475	
2. 固定負債			
退職給付引当金	28,687,385		
リース債務	3,449,250		
固定負債合計		32,136,635	
負債合計			99,585,110
正味財産			545,494,917

貸借対照表 総括表

平成22年3月31日現在

(単位:円)

科 目	一 般 会 計	エ イ ス 対 策 日 本 エ イ ス 基 金 戦 略 研 究 事 業 推 進 事 業 特 別 会 計	エ イ ス 対 策 日 本 エ イ ス 基 金 戦 略 研 究 事 業 推 進 事 業 特 別 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	13,679,341	34,528,807	54,932,066	—	103,140,214
未収金	1,589,359	—	—	—	1,589,359
前払金	47,177	—	24,000	—	71,177
前払費用	18,504,459	—	—	—	18,504,459
他会計勘定	—	476	3,866,144	△ 16,187,620	0
仮払金	80,652	—	—	—	80,652
流動資産合計	33,900,968	34,529,283	58,822,210	△ 16,187,620	123,385,861
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
普通預金	92,203	—	—	—	92,203
定期預金	199,680,000	—	—	—	199,680,000
投資有価証券	250,227,797	—	—	—	250,227,797
基本財産合計	450,000,000	0	0	0	450,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	28,687,385	—	—	—	28,687,385
ディーンエージャー事業積立預金	470,763	—	—	—	470,763
特定資産合計	29,158,148	0	0	0	29,158,148
(3) その他固定資産					
什器備品	31,409,751	—	—	—	31,409,751
リース資産	3,329,166	—	—	—	3,329,166
電話加入権	188,584	—	144,000	—	332,584
ソフトウェア	1,860,197	—	—	—	1,860,197
保証金	5,604,320	—	—	—	5,604,320
その他固定資産合計	42,392,018	0	144,000	0	42,536,018
固定資産合計	521,550,166	0	144,000	0	521,694,166
資産合計	555,451,154	34,529,283	58,966,210	△ 16,187,620	645,080,027
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	1,055,251	34,503,558	1,145	5,678,750	53,559,704
未払費用	4,759,468	—	—	—	4,759,468
未払消費税	109,368	—	—	2,869,380	2,978,748
預り金	14,672,960	25,725	—	△ 8,548,130	6,150,555
他会計勘定	3,868,350	—	12,319,270	△ 16,187,620	0
流動負債合計	24,465,397	34,529,283	12,320,415	△ 16,187,620	67,448,475
2. 固定負債					
退職給付引当金	28,687,385	—	—	—	28,687,385
リース債務	3,449,250	—	—	—	3,449,250
固定負債合計	32,136,635	0	0	0	32,136,635
負債合計	56,602,032	34,529,283	12,320,415	△ 16,187,620	99,585,110
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄附金	30,470,763	—	—	—	30,470,763
指定正味財産合計	30,470,763	—	—	—	30,470,763
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(0)	(0)	(0)	(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(470,763)	(0)	(0)	(0)	(4,632,201)
2. 一般正味財産	468,378,369	0	46,645,795	0	515,024,154
(うち基本財産への充当額)	(420,000,000)	(0)	(0)	(0)	(420,000,000)
正味財産合計	498,849,122	0	46,645,795	0	545,494,917
負債及び正味財産合計	555,451,154	34,529,283	58,966,210	△ 16,187,620	645,080,027

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

31~32

キャッシュ・フロー計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	△ 23,439,831	7,518,593	△ 30,958,424
2. キャッシュ・フローへの調整額			
①減価償却額	6,105,485	5,571,319	534,166
②有形固定資産除却額	6,539,783	—	6,539,783
③退職給付引当金の増減額	1,536,610	4,128,835	△ 2,592,225
④受取利息	△ 6,634,129	△ 8,325,298	1,691,169
⑤支払利息	75,265	15,561	59,704
④未収金の増減額	4,324,971	△ 1,651,084	5,976,055
⑤前払金の増減額	2,372,090	△ 17,940	2,390,030
⑥貯蔵品の増減額	11,270	36,430	△ 25,160
⑦立替金の増減額	501,500	500	501,000
⑧仮払金の増減額	△ 79,852	800	△ 80,652
⑨未払金の増減額	16,922,548	22,401,692	△ 5,479,144
⑩預り金の増減額	3,361,929	△ 3,451,034	6,812,963
⑪未払費用の増減額	△ 874,824	△ 31,698	△ 843,126
⑭指定正味財産からの振替額	△ 12,046,955	△ 44,117,160	32,070,205
⑮利息の受取額	5,044,770	6,419,749	△ 1,374,979
⑯利息の支払額	△ 75,265	—	△ 75,265
小 計	27,085,196	△ 19,019,328	46,104,524
3. 指定正味財産増加収入			
①寄附金等収入	7,885,517	24,092,870	△ 16,207,353
指定正味財産増加収入計	7,885,517	24,092,870	△ 16,207,353
事業活動によるキャッシュ・フロー	11,530,882	12,592,135	△ 1,061,253
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
①退職給付引当資産取崩収入	1,423,800	1,798,800	△ 375,000
②積立預金取崩収入	12,046,955	44,266,778	△ 32,219,823
③保証金返還収入	12,171,840	—	12,171,840
④長期前払資産取崩収入	8,369,705	—	8,369,705
投資活動収入計	34,012,300	46,065,578	△ 12,053,278
2. 投資活動支出			
①退職給付引当資産取得支出	2,960,410	5,927,635	△ 2,967,225
②積立預金繰入支出	7,885,517	24,242,488	△ 16,356,971
③什器備品購入支出	5,399,380	15,227,650	△ 9,828,270
④基本財産取得支出	65,085	27,118	37,967
⑤保証金支出	5,584,320	—	5,584,320
投資活動支出計	21,894,712	45,424,891	△ 23,530,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,117,588	640,687	11,476,901
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動支出			
①リース債務支出	919,800	229,950	689,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 919,800	△ 229,950	△ 689,850
IV 現金及び現金同等物の増減額	22,728,670	13,002,872	9,725,798
V 現金及び現金同等物の期首残高	80,411,544	67,408,672	13,002,872
VI 現金及び現金同等物の期末残高	103,140,214	80,411,544	22,728,670

(注) 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

一般会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	6,300,000	6,693,970	△ 393,970	事業指定寄付金の入金が遅れたため
寄付金収入	34,085,000	14,085,376	19,999,624	
雑収入	7,504,000	7,503,900	100	
事業活動収入計	47,889,000	28,283,246	19,605,754	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	52,843,000	53,093,731	△ 250,731	退職金を事業費により支出したため
国際会議等開催事業費支出	65,000	64,528	472	
大阪検査センター事業費支出	32,200,000	32,477,627	△ 277,627	
ティーン助成事業支出	4,900,000	4,929,237	△ 29,237	
人件費支出	1,060,000	970,340	89,660	
経費支出	8,740,000	8,860,903	△ 120,903	
事務所改装工事費支出	5,878,000	5,791,096	86,904	
②管理費支出	5,479,000	3,720,964	1,758,036	
人件費支出	2,167,000	742,602	1,424,398	
経費支出	3,312,000	2,978,362	333,638	
③他会計繰入支出	11,711,000	12,313,868	△ 602,868	
④その他事業活動支出	—	216,532	△ 216,532	
事業活動支出計	70,033,000	69,345,095	687,905	
事業活動収支差額	△ 22,144,000	△ 41,061,849	18,917,849	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①積立預金取崩収入	28,480,000	12,046,955	16,433,045	退職者があったため
②退職給付引当資産取崩収入	—	1,423,800	△ 1,423,800	
③保証金返還収入	12,172,000	12,171,840	160	
④他会計繰入収入	1,415,000	1,830,870	△ 415,870	
⑤その他固定資産取崩収入	8,370,000	8,369,705	295	
投資活動収入計	50,437,000	35,843,170	14,593,830	
2. 投資活動支出				
①基本財産取得支出	—	65,085	△ 65,085	
②退職給付引当資産取得支出	3,000,000	2,960,410	39,590	
③積立預金繰入支出	27,885,000	7,885,517	19,999,483	
④什器備品購入支出	1,530,000	1,529,444	556	
⑤保証金支出	5,584,000	5,584,320	△ 320	
投資活動支出計	37,999,000	18,024,776	19,974,224	
投資活動収支差額	12,438,000	17,818,394	△ 5,380,394	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出				
①リース債務返済支出	920,000	919,800	200	
財務活動収支差額	△ 920,000	△ 919,800	△ 200	
当期収支差額	△ 10,626,000	△ 24,163,255	13,537,255	
前期繰越収支差額	33,599,000	33,598,846	154	
次期繰越収支差額	22,973,000	9,435,591	13,537,409	

一般会計収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、貯蔵品、有価証券、立替金、他会計勘定、仮払金、未払金、未払費用、預り金、未払消費税及び短期借入金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	13,622,164	13,679,341
未収金	2,814,049	1,589,359
前払金	503,942	47,177
前払費用	20,231,844	18,504,459
貯蔵品	11,270	—
有価証券	3,446,990	—
他会計勘定	10,310,846	—
立替金	499,000	—
仮払金	—	80,652
合 計	51,440,105	33,900,988
未払金	868,481	1,055,251
未払費用	5,634,292	4,759,468
預り金	11,336,756	14,672,960
他会計勘定	1,730	3,868,350
未払消費税	—	109,368
合 計	17,841,259	24,465,397
次期繰越収支差額	33,598,846	9,435,591

エイズ予防対策事業特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①エイズ予防対策委託事業収入	301,720,000	301,720,000	0	
②一般会計繰入収入	—	400,884	△ 400,884	
事業活動収入計	301,720,000	302,120,884	△ 400,884	
2. 事業活動支出				
①エイズ予防対策事業費支出	301,720,000	302,120,884	△ 400,884	
事業活動支出計	301,720,000	302,120,884	△ 400,884	
事業活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

エイズ予防対策事業特別会計収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、貯蔵品、有価証券、立替金、他会計勘定、仮払金、未払金、未払費用、預り金、未払消費税及び短期借入金を含めている。

なお、前期末及び当期末の次期繰越収支差額は、0である。

エイズ対策研究推進事業特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①エイズ対策研究推進事業補助金収入	360,980,000	360,980,000	0	
②一般会計繰入収入	—	476	△ 476	
事業活動収入計	360,980,000	360,980,476	△ 476	
2. 事業活動支出				
①エイズ対策研究推進事業補助金支出	360,980,000	326,494,476	34,485,524	
②エイズ対策研究推進事業補助金返還支出	—	34,486,000	△ 34,486,000	研究者の中途退職、 事業中止等のため
事業活動支出計	360,980,000	360,980,476	△ 476	
事業活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

エイズ対策研究推進事業特別会計収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、貯蔵品、有価証券、立替金、他会計勘定、仮払金、未払金、未払費用、預り金、未払消費税及び短期借入金を含めている。

なお、前期末及び当期末の次期繰越収支差額は、0である。

日本エイズストップ基金特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①寄付金収入	39,135,000	40,673,645	△ 1,538,645	
②雑収入	1,000	420	580	
事業活動収入計	39,136,000	40,674,065	△ 1,538,065	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	29,311,000	28,389,124	921,876	
助成配分事業費支出	5,980,000	5,980,000	0	
アリコHIV啓発普及事業費支出	14,280,000	14,280,000	0	
人件費支出	6,932,000	5,967,628	964,372	
経費支出	2,119,000	2,161,496	△ 42,496	
②一般会計繰入支出	412,000	373,316	38,684	
事業活動支出計	29,723,000	28,762,440	960,560	
事業活動収支差額	9,413,000	11,911,625	△ 2,498,625	
当期収支差額	9,413,000	11,911,625	△ 2,498,625	
前期繰越収支差額	34,590,000	34,590,170	△ 170	
次期繰越収支差額	44,003,000	46,501,795	△ 2,498,795	

日本エイズストップ基金特別会計収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、貯蔵品、有価証券、立替金、他会計勘定、仮払金、未払金、未払費用、預り金、未払消費税及び短期借入金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	46,712,390	54,932,066
前払金	200,000	24,000
一般会計勘定	—	3,866,144
合 計	46,912,390	58,822,210
未払金	—	1,145
一般会計勘定	2,950	—
戦略研究会計勘定	12,319,270	12,319,270
合 計	12,322,220	12,320,415
次期繰越収支差額	34,590,170	46,501,795

エイズ対策戦略研究事業特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①エイズ対策戦略研究事業補助金収入	170,000,000	170,000,000	0	
②一般会計繰入収入	—	24,844	△ 24,844	
事業活動収入計	170,000,000	170,024,844	△ 24,844	
2. 事業活動支出				
①エイズ対策戦略研究事業支出	170,000,000	170,024,844	△ 24,844	
事業活動支出計	170,000,000	170,024,844	△ 24,844	
事業活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

エイズ対策戦略研究事業特別会計収支計算書に関する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、貯蔵品、有価証券、立替金、他会計勘定、仮払金、未払金、未払費用、預り金、未払消費税及び短期借入金を含めている。

なお、前期末及び当期末の次期繰越収支差額は、0である。

水道橋三崎町クリニック特別会計収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①医療事業収入	1,745,000	1,744,837	163	
②一般会計繰入収入	11,711,000	11,718,033	△ 7,033	
事業活動収入計	13,456,000	13,462,870	△ 6,870	
2. 事業活動支出				
①医療事業費支出	3,361,000	3,367,758	△ 6,758	
事業活動支出計	3,361,000	3,367,758	△ 6,758	
事業活動収支差額	10,095,000	10,095,112	△ 112	
当期収支差額	10,095,000	10,095,112	△ 112	
前期繰越収支差額	△ 10,095,000	△ 10,095,112	112	
次期繰越収支差額	0	0	0	

水道橋三崎町クリニック特別会計収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、貯蔵品、有価証券、立替金、他会計勘定、仮払金、未払金、未払費用、預り金、未払消費税及び短期借入金を含めている。

同性愛者等に対するHIV/エイズ予防対策事業特別会計 収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①同性愛者等に対するエイズ予防対策委託事業収入	45,743,000	45,743,000	0	
②雑収入	—	130	△ 130	
③一般会計繰入収入	—	169,631	△ 169,631	
事業活動収入計	45,743,000	45,912,761	△ 169,761	
2. 事業活動支出				
①同性愛者等に対するエイズ予防対策委託事業収入	45,743,000	45,912,761	△ 169,761	
事業活動支出計	45,743,000	45,912,761	△ 169,761	
事業活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

同性愛者等に対するHIV/エイズ予防対策事業特別会計 収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前払費用、貯蔵品、有価証券、立替金、他会計勘定、仮払金、未払金、未払費用、預り金、未払消費税及び短期借入金を含めている。

なお、当期末の次期繰越収支差額は、0である。

収支計算書総括表

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	一 般 会 計 対 策 特 別 会 計	エ イ ズ 予 防 業 研 究 推 進 特 別 会 計	エ イ ズ 対 策 日 本 エ イ ズ ト ッ プ 基 金 特 別 会 計	エ イ ズ 社 会 経 済 研 究 特 別 会 計	水 道 三 橋 町 ク ラ イ ヴ / エ イ ズ 防 御 事 業 特 別 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
1. 事業活動収入							
基本財産運用収入	6,693,970	—	—	—	—	—	6,693,970
事業収入	—	—	—	—	1,744,837	—	1,744,837
委託費収入	—	301,720,000	—	—	—	—	347,463,000
補助金収入	—	—	—	170,000,000	—	—	530,980,000
寄付金収入	14,085,376	—	—	40,673,645	—	—	54,759,021
雑収入	7,503,900	—	—	420	—	—	7,504,450
他会計繰入収入	—	400,884	—	—	11,718,033	△ 12,313,868	0
事業活動収入計	28,283,246	302,120,884	40,674,065	170,024,844	13,462,870	△ 12,313,868	949,145,278
2. 事業活動支出							
事業費支出	53,093,731	302,120,884	28,369,124	170,024,844	3,367,758	△ 1,457,554	962,432,024
管理費支出	3,720,954	—	—	—	—	—	3,720,954
他会計繰入支出	12,313,868	—	373,316	—	—	△ 12,687,184	0
その他事業活動支出	216,532	—	—	—	—	—	216,532
事業活動支出計	69,345,095	302,120,884	28,762,440	170,024,844	3,367,758	△ 14,144,738	966,369,620
事業活動収支差額	△ 41,061,849	0	11,911,625	0	10,095,112	1,830,870	△ 17,224,242
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
特定資産取崩収入	13,470,755	—	—	—	—	—	13,470,755
他会計繰入収入	1,830,870	—	—	—	—	△ 1,830,870	0
保証金返還収入	12,171,840	—	—	—	—	—	12,171,840
その他固定資産取崩収入	8,369,705	—	—	—	—	—	8,369,705
投資活動収入計	35,843,170	0	0	0	0	△ 1,830,870	34,012,300
2. 投資活動支出							
基本財産取得支出	65,085	—	—	—	—	—	65,085
退職給付引当資産取得支出	2,960,410	—	—	—	—	—	2,960,410
積立預金繰入支出	7,885,517	—	—	—	—	—	7,885,517
什器備品購入支出	1,529,444	—	—	—	—	—	1,529,444
保証金支出	5,584,320	—	—	—	—	—	5,584,320
投資活動支出計	18,024,776	0	0	0	0	0	18,024,776
投資活動収支差額	17,818,394	0	0	0	0	△ 1,830,870	15,987,524
III 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
リース債務返済収入	919,800	—	—	—	—	—	919,800
財務活動収入計	△ 919,800	0	0	0	0	0	△ 919,800
2. 財務活動支出							
当期収支差額	△ 24,163,255	0	11,911,625	0	10,095,112	0	△ 2,156,518
前期繰越収支差額	33,598,846	0	34,590,170	0	△ 10,095,112	0	58,093,904
次期繰越収支差額	9,435,591	0	46,501,795	0	0	0	55,937,386

平成 22 年度活動方針

(組織体制の強化)

1. 新公益法人制度への迅速な移行

平成 20 年 12 月 1 日に新公益法人制度が施行され、21 年 3 月の理事会・評議員会において、税制の優遇措置が受けられる「公益財団法人」への移行を目標とすることを決議した。平成 22 年度中の認定が得られるよう組織体制を強化し、早期の申請及び認定取得後の速やかな登記、移行手続きを行う。特に、年度途中の旧組織の決算及び新組織の予算、ガバナンス体制の下での運営、新会計基準に沿った経理などに配慮する。

2. 組織体制の効率化

費用対効果の測定を基に注力する活動やその実施方法などを検討し、効率的な組織運営につなげる。

3. インターンやボランティアとの協力強化

インターンやボランティアの制度を作成し、それぞれの興味や能力に合った形で当財団の活動に参加できる機会を提供し、継続的な協力が得られるよう検討する。

(財政基盤の整備)

1. 寄付金拡大のための募金活動

企業や個人の HIV/AIDS 予防活動への参画を図ることを目的に、企業とのパートナーシップの強化と定期的な支援者の拡大に注力する。

2. 部門間の連携強化

特定事業に対するマッチング寄付の確保、及び一般寄付を増やすための施策について、各部門が協力して計画・実施をする。

平成 22 年度事業計画

(会議開催予定)

・ 第 48 回理事会・第 49 回評議員会	平成 22 年 6 月
・ 第 49 回理事会・第 50 回評議員会	平成 23 年 3 月
・ 評議員選定委員会	平成 22 年 5 月
・ 第 18 回日本エイズストップ基金運営委員会	平成 22 年 6 月
・ 平成 22 年度エイズ予防のための戦略研究運営委員会他	随 時 開 催
・ 平成 22 年度血液凝固異常症全国調査運営委員会 (第 1 回)	平成 22 年 5 月
・ 平成 22 年度血液凝固異常症全国調査運営委員会 (第 2 回)	平成 23 年 3 月
・ 平成 22 年度エイズ治療拠点病院地域別病院長会議	平成 23 年 3 月
・ 平成 22 年度「世界エイズデー」ポスターコンクール 第 1 次審査会	平成 22 年 9 月
第 2 次審査会	平成 22 年 10 月
・ 平成 22 年度エイズ対策研究推進事業運営委員会	平成 23 年 3 月

(一般会計 事業計画)

1. 情報収集・提供事業

エイズに関する情報を収集し、研究の助成及び知識の普及啓発に資する。

(1) 日本エイズ学会等の出席により HIV/エイズに関する最新の情報を収集する

第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会

会期：11 月 24 日～26 日

会場：グランドプリンスホテル高輪・ザ・プリンス サクラタワー東京

(2) ホームページによる情報提供事業

2. 国際協力事業

HIV/エイズに関する諸外国の情報を収集するとともに、海外の研修生の受入、海外の関係諸団体との連携・交流の促進を図る。

3. 大阪 HIV 検査相談・啓発・支援センター支援事業 (大阪検査センター事業)

HIV 検査受検の促進等を図るため、厚生労働省疾病対策課の指導の下、平成 20 年 3 月に開設された大阪府・大阪市の運営による大阪 HIV 検査相談・啓発・支援センター「chot CAST なんば」に対してブリストル・マイヤーズ株式会社及び米国ブリストル・マイヤーズ基金の寄付を受けて、財政的支援を行う。施設の賃貸契約期間は平成

23 年 2 月 28 日までとして更新は行わない。事業の継続を大阪府・大阪市に実施してもらうための会議（大阪府・大阪市・財団）を定期的に実施。

4. ティーンエイジャー支援事業

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の寄付を受けて、高校生・中学生を中心とするティーンエイジャーを対象とした HIV／エイズ予防啓発を目的とし、①ティーンエイジャー自身が参画する活動、②ティーンエイジャーを対象にした活動に継続して参加する指導者の育成活動への資金助成を行う。

平成 20 年度から開始した本事業の助成対象となる活動は、①ティーンエイジャー自身が参画する活動、②ティーンエイジャーを指導・支援する人たちによる活動、のいずれかを満たすものであり、一団体あたり最大年間 100 万円の資金助成を行う。平成 22 年度は 3 月に公募、5 月に選考委員会にて助成先を選考。

（特別会計 事業計画）

5. 日本エイズストップ基金の運営

（1）エイズ患者・HIV 感染者への支援等に取り組んでいるボランティア団体の行う事業に対し、事業資金の助成を行う。助成対象事業は公募により、基金運営委員会において決定する。平成 22 年度は 3 月に公募、6 月に助成の予定。

（2）アリコジャパン、アリコジャパン全国代理店会連合会、アボットジャパン、オカモト株式会社、ヤフー株式会社など、団体・企業による会員・社員等への日本エイズストップ基金の広報・普及啓発

（3）各地域の国際ソロプチミストによる募金協力、プロボクシング試合（金子ボクシングジム協力）会場、エイズチャリティ美術展（ハートアートコミュニケーション主催）会場等のイベント会場での募金活動の実施

（4）普及啓発事業

国民の各層にエイズに関する正しい知識の普及を図る。

①パンフレット、小冊子、啓発グッズ等を作成、企業や団体等を通して広く国民に配布。

②地域の祭事での募金と普及啓発（水戸神輿連合会の神輿祭など）や NGO 団体による地域のイベントによる募金と普及啓発（浜松のオートレース場等）

(国：委託事業)

6. エイズ予防対策事業

(1) 発症の予防及びまん延の防止

① 血液凝固異常症実態調査事業

血液製剤を通じて HIV に感染した血友病患者を中心に血液凝固異常症(血友病 A、B、類縁疾患等)の病態を把握し、HIV のみならず血液凝固異常症の患者に及ぶ様々な障害について調査し、治療の向上と生活の質の向上に寄与するために必要な情報を整理し、研究者、臨床医等に提供する。

調査の運営に当たり、医療関係者及び血液凝固異常症の患者による「血液凝固異常症全国調査運営委員会」を設置する。

② HIV 感染者等保健福祉相談事業

HIV に感染した者及びその家族に対して、その社会的・精神的な問題の解決に寄与すること、また、HIV 検査を通じた感染者の日常及びカウンセリングを効果的に実施し、感染拡大の防止を図るため、より検査を受けやすい体制を確保することを目的として、エイズ治療中核拠点病院相談事業、HIV 検査・相談事業、専門相談員による電話相談事業、電話自動応答システムによる情報提供事業の4つを実施する。

I エイズ治療中核拠点病院相談事業

1) 相談員配置による相談事業

全国のエイズ治療中核拠点病院(平成21年度において25機関)に相談員を配置し、感染者・患者等からの各種保健福祉相談への対応、これらの者の心理的援助を行う。

2) 相談員連絡会の開催

相談員間の情報交換・意見交換を通し、感染者・患者等にとってより良い相談体制を構築するため、また、患者の移動に伴う全国の状況を把握することを趣旨として相談員連絡会を開催する。

II HIV 検査・相談事業

定期的な HIV 検査を実施して、検査の安定した環境を提供するとともに、HIV 検査週間や世界エイズデーとタイミングを合わせて臨時の HIV 検査を実施する。

III 専門相談員によるフリーダイヤル電話相談事業

HIV の検査相談場所に関する照会、HIV 感染不安や検査結果待ちの不安感からの相談が増加傾向にあるため、当財団内に電話相談室を設置し、援

助スキルの高い専門相談員によるフリーダイヤルの電話相談を実施する。

IV JFAP エイズサポートラインによるエイズ予防情報の提供事業

わが国に居住する外国人の増加に伴う質問への対応を行うため、これまでの電話相談の蓄積を生かし、エイズの基礎知識、ボランティア活動など約 40 項目について 8 か国語で情報整備を図り、電話自動応答システムで 24 時間対応を行う。

③ ボランティア指導者育成事業

エイズに関する正しい知識の普及啓発等を行うボランティアの指導者等（約 30 人）を対象として、心理学、公衆衛生学、資金調達等を内容とする研修を年 1 回実施し、応用的かつ実践的なプログラムを提供することにより、NGO 活動の強化及び横の繋がり的发展・強化を図る。

④ 相談員養成研修事業

エイズ感染者等保健福祉相談事業従事者、保健所・医療機関等においてエイズに関する相談・指導に従事する医師・保健師・看護師、臨床心理士等を対象として、医学、心理学、法学、教育学等を内容とする次の研修会を年 6 回開催する。

- I エイズ関係者の裾野を広げるための「予防ケア入門編」研修（東京・広島）と、「HIV 検査・相談基礎編」研修（東京）
- II 実践技術の向上を支援するための「ケア合同応用編」研修（東京）と、「HIV 検査・相談応用編」研修（東京）
- III 外国人感染者の医療環境を整備するための「通訳」研修（東京）

(2) 医療の提供及び国際的な連携

⑤ エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業

地方ブロック拠点病院等の医師、歯科医師、看護師、検査技師等（10 人程度）をエイズ診療の経験豊富な海外医療機関（サンフランシスコ）に 2 週間程度派遣し、エイズに関する感染予防対策等の臨床実地実習、最新の医療技術の習得に当たらせる。

⑥ エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開催事業

エイズ治療拠点病院の各地域における実情に応じた対応が必要であることから、エイズ治療拠点病院の整備状況、今後の拠点病院の在り方等について意見交換を行うことを目的として、厚生労働省が開催する「中央運営協議

会」に時期を合わせて、エイズ治療ブロック拠点病院長会議を開催する。

⑦ HIV 診療医師情報網支援事業

HIV 感染症の臨床医等による情報網に対して、情報の交換や医師等の交流の連携・強化を図るため、症例検討会や講演会の開催、ネットワーク紙の発行を行う。

なお、支援対象とする情報網は、次のとおりである。

- I 東北 HIV 診療支援ネット
- II HIV 感染症の医療体制構築を目指すネットワーク（新潟）
- III 東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会
- IV 北陸 HIV 臨床談話会
- V 関西 HIV 臨床カンファレンス
- VI 岡山 HIV 診療ネットワーク
- VII 九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議
- VIII 北海道 HIV 診療ネットワーク（仮名）

⑧ エイズ国際会議研究者等派遣事業

国内研究者、NGO、医療従事者等で下記の条件を満たすもの（20 人程度）を第 18 回国際エイズ会議（ウィーン）に 1 週間程度派遣し、各国関係者との意見交換及びエイズに関する最新の知見を得ることにより、エイズ対策の広範な充実、活性化を図る。

- I 会議での明確な公的役割があること。（口演等）
- II 会議の成果を国内に還元する具体的な計画があること。
- III 会議に参加できる語学（英語）力があること。
- IV 他機関からの旅費等の補助を受けていないこと。

⑨ エイズ国際協力計画推進検討事業

近年、エイズ感染率の上昇がみられる東アジアの 2 カ国（中国、韓国）を対象として、エイズに関する現地調査、情報収集を行う。

また、7 月に開催される国際エイズ会議（ウィーン）において、東南アジア地域の関係者と折衝、情報収集、意見交換を行う。

(3) 普及啓発及び教育

⑩ エイズ知識啓発普及事業

広く国民にエイズに関する正しい知識の啓発普及を図るとともに、重点的

な啓発普及が必要な青少年や同性愛者等に対し、個別に予防啓発を図るために次に掲げる各事業を実施する。

- I 「世界エイズデー」のポスターデザインの募集（ポスターコンクールの実施）
- II リーフレット等の作成・配布
- III 出国時における啓発普及事業
- IV 多角的な普及啓発事業
- V 「HIV 検査普及週間」「世界エイズデー」にあわせたエイズ予防啓発活動
- VI 同性愛者に対し、HIV/エイズに関する情報提供を行うコミュニティセンターの設置・運営
- VII その他正しい知識の普及のための事業
全国各地で開催されるイベント、シンポジウム、コンサート、講演会等へのブース設置を行い、普及啓発を実施する。

⑪ エイズ予防情報センター事業

一般国民、医療関係者、エイズ患者・感染者やその家族等に対し、インターネットを經由してエイズに関する啓発等情報の提供を行うことにより、HIV/エイズの感染防止に寄与することを目的として、ホームページ「エイズ予防情報ネット」(API-Net)を整備、運用し、各種エイズ関連情報を提供する。

⑫ 青少年エイズ対策事業

性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年を対象に、科学的根拠に基づいたエイズ予防事業を実施することにより、効果的な普及啓発の推進を図ることを目的として、次のエイズ予防事業を実施する。

- I 保健所のエイズ対策担当者、小学校・中学校・高等学校の教育者・保健師等を対象とする研修の実施
- II 上記研修に基づいた授業等の実施依頼
- III エイズ予防事業の事後評価と成果の発表

⑬ エイズ治療啓発普及事業

エイズ治療に関する最新の情報を整理・提供し、エイズに対する差別・偏見の軽減に寄与するためにエイズ関連総合情報誌「エイズリポート」をエイズ治療拠点病院、自治体、研究者、NGO 等に配布する。発行回数は年2回とし、編集委員会を設けて編集会議により、各号の企画・編集方針を決定する。

(国：補助事業)

7. エイズ対策研究推進事業

エイズ研究、エイズ対策に関する国際交流、若手研究者の育成を積極的に進めることにより、エイズの発症予防・治療等の研究推進に寄与する。

実施事業の選考・評価は、財団に設置した「エイズ対策研究推進事業運営委員会」が行う。

(1) 外国人研究者招へい事業

エイズ対策研究の分野で優れた研究を行っている外国人研究者を2週間程度招へいし、共同研究、情報交流等を行う。

(2) 外国の研究機関等への委託事業

エイズ対策研究を実施するにあたり、外国の研究機関等で実施した方が効率的な調査、研究等を外国の研究機関等に委託することによりエイズ対策研究を推進する。

(3) 若手研究者育成活用事業

将来のわが国のエイズ研究の中心となる人材を育成するため、若手研究者を募集・採用し、大学・研究機関等に派遣して研究に参画させる。

エイズの医療体制の整備に関する研究者を全国のエイズ治療の地方ブロック拠点病院等に派遣し、研究を推進する。

(4) 研究成果等普及啓発事業

エイズ対策研究の成果を普及啓発するために発表会の開催及び資料・パンフレット等の作成を行う。

8. エイズ予防のための戦略研究事業

「戦略研究」とは、わが国を支える多くの国民の健康を維持・増進させるために、優先順位の高い慢性疾患・健康障害を標的として、その予防・治療介入および診療の質の改善介入等、国民の健康を守る政策に関連するエビデンスを生み出すために実施される大型の臨床介入研究であり、エイズ予防対策の更なる推進を図るため、平成 18 年度から「戦略研究（エイズ予防のための戦略研究）」が実施されている。

この研究は、5 年以内に対象とする集団で HIV 抗体検査を受ける人を 2 倍に増やすこと、およびエイズを発症する人を 25%減らすことを目標に「どのような介入が有効であるかを検討する」ことが目的。平成 22 年度は最終年度となる。

実施にあたってはエイズ予防財団の木村理事長が主任研究者となり財団内に運営委員会、倫理審査委員会等の委員会と戦略研究推進室を設置し、研究課題のリーダーをサポートする。

また、データ収集から統計解析データの作成等のデータマネジメント業務をデータセンターとして国際協力医学研究振興財団に業務委託する。

【研究課題】 首都圏及び阪神圏の男性同性愛者を対象とした HIV 抗体検査の普及強化プログラムの有効性に関する地域研究介入

(研究リーダー：名古屋市立大学 市川誠一)

平成22年度

収 支 予 算 書

財団法人エイズ予防財団

収 支 予 算 書 総 括 表

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	一般会計	エイズ予防 対策事業 特別会計	エイズ対策 研究推進事業 特別会計	日本エイズ ストップ基金 特別会計	エイズ対策 戦略研究事業 特別会計	内部取引 消 去	合 計
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
基本財産運用収入	6,300						6,300
委託費収入		275,541					275,541
補助金等収入			382,023		170,000		552,023
寄付金収入	31,000			34,000			65,000
雑収入	1,530			1			1,531
事業活動収入計	38,830	275,541	382,023	34,001	170,000	0	900,395
2. 事業活動支出							
事業費支出	53,981	275,541	382,023	42,409	170,000	△ 961	922,993
管理費支出	4,442						4,442
他会計繰入支出				410		△ 410	0
事業活動支出計	58,423	275,541	382,023	42,819	170,000	△ 1,371	927,435
事業活動収支差額	△ 19,593	0	0	△ 8,818	0	1,371	△ 27,040
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
他会計繰入収入	1,371					△ 1,371	0
積立預金取崩収入	29,284						29,284
投資活動収入計	30,655	0	0	0	0	△ 1,371	29,284
2. 投資活動支出							
退職給付引当資産取得支出	3,188						3,188
積立預金繰入支出	25,000						25,000
投資活動支出計	28,188	0	0	0	0	0	28,188
投資活動収支差額	2,467	0	0	0	0	△ 1,371	1,096
III 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
短期借入金収入	30,000	20,000	50,000	0	10,000	0	110,000
2. 財務活動支出							
短期借入金返済支出	30,000	20,000	50,000	0	10,000	0	110,000
リース債務返済支出	920						920
財務活動収支差額	△ 920	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	△ 18,046	0	0	△ 8,818	0	0	△ 26,864
前期繰越収支差額	22,973	0	0	44,003	0	0	66,976
次期繰越収支差額	4,927	0	0	35,185	0	0	40,112

一般会計収支予算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	6,300	6,300	0	
寄付金収入	31,000	34,085	△ 3,085	
雑収入	1,530	7,504	△ 5,974	
事業活動収入計	38,830	47,889	△ 9,059	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	53,981	52,843	1,138	
普及啓発事業費支出	100	0	100	
情報収集提供事業費支出	100	0	100	
国際協力事業費支出	150	65	85	
大阪検査センター事業費支出	42,697	32,200	10,497	
ティーンエージャー事業費支出	5,000	4,900	100	
人件費支出	808	1,060	△ 252	
経費支出	5,126	14,618	△ 9,492	
②管理費支出	4,442	5,479	△ 1,037	
人件費支出	696	2,167	△ 1,471	
経費支出	3,746	3,312	434	
③他会計繰入支出	0	11,711	△ 11,711	
事業活動支出計	58,423	70,033	△ 11,610	
事業活動収支差額	△ 19,593	△ 22,144	2,551	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①他会計繰入収入	1,371	1,415	△ 44	
②積立預金取崩収入	29,284	28,480	804	
③保証金返還収入	0	12,172	△ 12,172	
④その他固定資産取崩収入	0	8,370	△ 8,370	
投資活動収入計	30,655	50,437	△ 19,782	
2. 投資活動支出				
①退職給付引当資産取得支出	3,188	3,000	188	
②積立預金繰入支出	25,000	27,885	△ 2,885	
③什器備品購入支出	0	1,530	△ 1,530	
④保証金支出	0	5,584	△ 5,584	
投資活動支出計	28,188	37,999	△ 9,811	
投資活動収支差額	2,467	12,438	△ 9,971	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
短期借入金収入	30,000	54,000	△ 24,000	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	30,000	54,000	△ 24,000	
リース債務返済支出	920	920	0	
財務活動収支差額	△ 920	△ 920	0	
当期収支差額	△ 18,046	△ 10,626	△ 7,420	
前期繰越収支差額	22,973	33,599	△ 10,626	
次期繰越収支差額	4,927	22,973	△ 18,046	

(注)

1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。

2. 借入金限度額 30,000,000 円

3. 債務負担額 なし

エイズ予防対策事業特別会計収支予算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
エイズ予防対策事業委託費収入	275,541	347,463	△ 71,922	
事業活動収入計	275,541	347,463	△ 71,922	
2. 事業活動支出				
①血液凝固異常症実態調査事業	10,028	12,663	△ 2,635	
②H I V感染者等保健福祉相談事業	94,555	135,400	△ 40,845	
③ボランティア指導者育成事業	1,250	1,071	179	
④相談員養成研修事業	10,560	12,242	△ 1,682	
⑤エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業	10,107	15,057	△ 4,950	
⑥エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開催事業	671	92	579	
⑦H I V診療医師情報網支援事業	17,759	16,438	1,321	
⑧エイズ国際会議研究者等派遣事業	4,050	6,966	△ 2,916	
⑨エイズ国際協力計画推進検討事業	1,840	2,354	△ 514	
⑩エイズ知識啓発普及事業	68,784	79,405	△ 10,621	
⑪エイズ予防情報センター整備事業	3,068	8,814	△ 5,746	
⑫青少年エイズ対策事業	9,500	10,008	△ 508	
⑬エイズ治療啓発普及事業	2,469	5,280	△ 2,811	
⑭職員の設置	40,900	41,673	△ 773	
事業活動支出計	275,541	347,463	△ 71,922	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
短期借入金収入	20,000	0	20,000	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	20,000	0	20,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(注)

- 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。
- 今年度より「同性愛者等に対するHIV/エイズ予防啓発事業」が統合されたため、前年度予算額には同特別会計額45,744千円が含まれている。
- 借入金限度額 20,000,000 円
- 債務負担額 なし

エイズ対策研究推進事業特別会計収支予算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
エイズ対策研究推進事業補助金収入	382,023	360,980	21,043	
事業活動収入計	382,023	360,980	21,043	
2. 事業活動支出				
①外国人研究者招へい事業	5,231	4,130	1,101	
②外国への研究委託事業	7,770	7,580	190	
③若手研究者育成活用事業	353,692	328,270	25,422	
④研究成果等普及啓発事業	15,330	21,000	△ 5,670	
事業活動支出計	382,023	360,980	21,043	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
短期借入金収入	50,000	0	50,000	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	50,000	0	50,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(注)

1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日・公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。

2. 借入金限度額 50,000,000 円

3. 債務負担額 なし

日本エイズストップ基金特別会計収支予算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位: 千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
寄付金収入	34,000	39,135	△ 5,135	
雑収入	1	1	0	
事業活動収入計	34,001	39,136	△ 5,135	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	42,409	29,311	13,098	
助成配分事業費支出	8,400	5,980	2,420	
普及啓発事業費支出	3,000	0	3,000	
国際協力事業費支出	2,500	0	2,500	
アリコHIV啓発普及事業費支出	14,000	14,280	△ 280	
人件費支出	13,081	6,932	6,149	
経費支出	1,428	2,119	△ 691	
②一般会計繰入支出	410	412	△ 2	
事業活動支出計	42,819	29,723	13,096	
事業活動収支差額	△ 8,818	9,413	△ 18,231	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△ 8,818	9,413	△ 18,231	
前期繰越収支差額	44,003	34,590	9,413	
次期繰越収支差額	35,185	44,003	△ 8,818	

(注)

1. 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 借入金限度額 0 円
3. 債務負担額 なし

エイズ対策戦略研究事業特別会計収支予算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
エイズ対策戦略研究事業補助金収入	170,000	170,000	0	
事業活動収入計	170,000	170,000	0	
2. 事業活動支出				
人件費	59,413	65,614	△ 6,201	
諸謝金	8,500	16,092	△ 7,592	
旅 費	7,000	3,283	3,717	
庁 費	75,087	65,011	10,076	
消耗品費	3,387	8,100	△ 4,713	
印刷製本費	5,500	2,800	2,700	
通信運搬費	1,000	560	440	
借料及び損料	6,300	5,650	650	
会議費	900	368	532	
賃金	7,000	5,433	1,567	
雑役務費	51,000	42,100	8,900	
委託費	20,000	20,000	0	
事業活動支出計	170,000	170,000	0	
事業活動収支差額	0	0	0	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
短期借入金収入	10,000	0	10,000	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	10,000	0	10,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

(注)

- 収支予算書は「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。
- 借入金限度額 20,000,000 円
- 債務負担額 なし